

特定非営利活動法人

VOL.52

南国暮らしの会

2011年 夏・秋季号



タイ・チェンマイ、ロイカトーン
夜空に舞う「コムローイ」の祈り

平成23年9月3日



登録第4810100号
(REGISTRATION NUMBER)

NPO法人 南国暮らしの会

南国暮らしの会

(2011年 夏・秋季号)

目次

(敬称略) ページ

平成 23 年度総会案内

挨拶・・・総会を終えて	No. 732	馬場 章介	1
平成 23 年度 通常総会議事録			2
平成 23 年度 役員会・支部長議事録			3
平成 23 年度 役員・業務分担表			5
平成 23 年度 委員会構成表			6

特集 パネルディスカッション

「私の旅スタイル、およびロングステイについて」	No. 40	平澤 信	7
関東甲信越支部サロン会にて	No.1118	肥後 憲尚	
	No.1136	大野 京子	
	No.1161	永島 和雄	
	司会・進行 No.1256	大塚 眞一	

会員からの投稿

初めてのチェンマイ	No. 742	池田 邦彦	16
この指とまれ 関西支部「フィリピン ダバオの旅」			
*この指とまれパート3 ダバオ下見ツアー	No. 811	山本 嘉雄	22
*アイランドホッピング	No. 800	橋本航三郎	23
*ダバオお誘い旅行から	No. 672	丸山百合子	24
*ハウスオブジョイ訪問記	No. 632	河南 裕子	24
*ダバオのゴルフ場	No. 173	平山 三雄	25
旅行三昧の日々で～～す。	No.1020	松下 茂	27
ヨーロッパ4か国、気ままに夫婦二人旅	No. 434	大野 悦子	30
チェンマイ観光事情	No. 558	伊澤 豊	38
麗しきハワイ ロングステイ	No.1453	稲本 卓三	40

支部便り

北海道支部便り	No. 609	三島 克幸	45
関東甲信越支部便り	No.1125	佐々木一信	45
東海支部便り	No. 840	岩田 彬	46
関西支部便り	No. 891	徳永 卓雄	47
九州支部便り	No. 581	朝永 清寿	48
海外在住者から会報についてお願いと提案(チェンマイ支部便り)	No. 909	鈴木 通弘	49
バギオ・パンガシナン支部便り	No. 227	斎木 一	49
ペナン支部便り	No.1020	松下 茂	50
マニラ支部便り	No.1269	岩崎 宏	51

部会伝言板			52
-------	--	--	----

友好団体紹介コーナー			55
------------	--	--	----

南国暮らしの会 支部一覧			55
--------------	--	--	----

会員からの投稿写真			56
-----------	--	--	----

編集後記			56
------	--	--	----

挨拶・・・総会を終えて

南国暮らしの会 理事長 No.732 馬場 章介

会員の皆様には3月11日の東日本大震災の影響で原発問題とか余震とか、まだ不安を感じているのではなかとと思います。しかし、直接被災者のご苦勞を思うと引き続いて「何かできることはないか?」と考え、行動することを心がけたいものです。

ところで、5月28日に国内支部長会議を各支部長と理事の皆様で開催いたしました。支部長の皆さんからは各支部の楽しくアクティブな支部活動の発表があり、又会運営につきましても積極的な意見交換を行うことができました。続いて29日の平成23年度定期総会では、全国の会員の皆様のご理解と、ご協力によりまして1号議案、2号議案とも賛同を頂き承認されましたことに感謝を申し上げますと共に、無事総会を終了いたしましたことを改めてご報告申し上げます。



さらに6月7日にはNPO法人としての義務であります各種書類の提出を法務局と東京都庁に出向きまして提出し、すべて受理されましたことを重ねて報告いたします。

新任で不慣れな理事が多い中でこの1年間大過なく世話役を務めることができましたのも会員各位のご支援のお陰と理事一同感謝申し上げる次第です。今年度はさらに会の発展のため「楽しく、仲良く、ロングステイの情報交換」をスローガンに役目を果たしていきたいと意を新たにしております。

そこで、今年度は特に定款や細則の見直しに注力し、ホームページの充実により会員同士のコミュニケーションを密にするばかりでなく、一般の方々にも情報発信して新入会員の入会の促進にもつなげていきたいと考えております。

さらに会員各位には従来にまして外部に対するボランティア活動の積極的な実施をお願いする次第です。フィリピンでの学童、学生への教育支援とかチェンマイへの使い古しのパンティストッキングの提供とか、東北被災地への援助活動、等すでに活動実績がありますが、さらに継続、活発化されることをお願いする次第です。

そして、会員の共通する「海外でのロングステイ」というテーマを中心に、会員各位が「自己責任」、「受益者負担」を原則に、パソコン教室とかゴルフやテニス同好会とか、この指とまれ方式の海外視察ツアーなどを自主的に積極的に活動され、親睦を深め、さらに多くの方が生きがいを感じられる楽しい会に発展できればと願っております。

日本では高齢者が、生き生きと生活を楽しむインフラがまだ十分に整っているとは思えませんが、我々の会がその受け皿となることがNPO法人としての社会貢献につながる役割を果たせるのではないかと考える次第です。

最後に会の益々の発展と会員及びご家族の皆様がたのご健勝を祈念いたしまして総会を終えての挨拶とさせていただきます。

特定非営利活動法人南国暮らしの会 平成23年度通常総会議事録

1. 日時 : 平成23年5月29日(日)
午前10時00分から11時30分まで
2. 場所 : 東京都品川区大崎1-11-1
東京都大崎労政事務所・南部労政会館
3. 正会員総数 : 520名
4. 出席者数 : 330名
(内、総会出席者34名、書面表決者296名)
5. 審議事項 :
 - (1) 第一号議案 平成22年度事業報告及び決算報告・監査報告について
 - (2) 第二号議案 平成23年度事業計画案及び予算案について



総会に於ける
理事長 馬場氏 挨拶

6. 議事の経過の概要及び議決の結果

司会の大塚理事は、今総会の表決権所持会員数が520名であり、出席者34名、委任状296名であることから定款第26条により本日の通常総会が成立することを説明し、定款第25条の規定により議長として会員徳永卓雄氏(関西支部長)を推薦し、満場一致で議長に選ばれた。議長は開会を宣言し、まず審議の進め方の説明を行い、引き続き議案の審議に入った。

議案

第一号議案 平成22年度事業報告及び決算報告・監査報告について
馬場理事長が平成22年度事業報告書に基づき、詳細な事業報告を行った。次いで岩井理事が同年度の会計収支計算書、貸借対照表に基づき詳細な決算報告を行った。最後に高田監事から、当会は同定款等に基づき適切に運営され、収支計算書等はいずれも正確である旨の報告が監査報告書に基づき行われた。議長は第一号議案について賛否を諮り、満場一致にて承認された。(書面表決者含む)



総会風景

第二号議案 平成23年度事業計画案及び予算案について

馬場理事長が平成23年度の事業計画書案に基づき詳細な説明を行った。次いで岩井理事から会計収支予算書案に基づき説明がなされた。

議長は同予算案等について賛否を諮り、満場一致にて承認された。(書面表決者含む)

その他

1. 馬場理事長より平成23年度理事業務分担と理事の紹介及び支部長の紹介があった。

7. 議事録署名人の選任に関する事項

議長は本日の総会における議案の総てが終了したことを告げ、本日の議事をまとめるに当たり、総会議事録署名人として高田勝弘監事を選任することを諮り全員異議なく承認した。議長は議事の進行に関し出席者の協力を謝し、閉会を宣した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成23年5月29日

議 長 徳永 卓雄 (印)

議事録署名人 高田 勝弘 (印)

平成23年度南国暮らしの会 役員会・支部長会議事録

日時：平成23年5月28日（土）13：30～16：30

場所：東京都南部労政会館 第5会議室

出席者：馬場理事長(NO.732)、加藤理事(NO.489)、青木理事(NO.513)、小松理事(NO.750)、岩井理事(NO.755)、山科理事(NO.1068)、山田理事(NO.1108)、肥後理事(NO.1118)、佐々木理事(NO.1125)、宇田理事(NO.1156)、永島理事(NO.1161)、長谷川理事(NO.1178)、高橋理事(NO.1225)、大塚理事(NO.1256)、木村理事(NO.1361) 高田監事(NO.712)、宮崎相談役(NO.163)、小林顧問(NO.462)、橋本顧問(NO.465) 三島克幸北海道支部長代理(NO.609)、東海支部長岩田彬(NO.840、新任)、徳永卓雄関西支部長(NO.891)、朝永九州支部長(NO.581)

永島支部推進委員会長の司会進行で、役員会開催の挨拶があった。初めに、東日本大震災の被災者と今年亡くなられた酒匂景輝元理事長を追悼する為出席者一同起立して黙祷し、議題に入った。

(1) 理事・監事の自己紹介

馬場理事長の挨拶から始まり、理事その後、監事、相談役、顧問の自己紹介があった。

(2) 各支部長自己紹介

北海道支部は佐藤支部長が体調不良のため三島代理が自己紹介。氏家東北支部長は欠席。佐々木関東甲信越支部長、岩田東海支部長(新任)、徳永関西支部長、朝永九州支部長が各々自己紹介をした。

(3) 23年度業務分担

馬場理事長から23年度の役員の業務分担の説明があった。

凡例 ◎：部会長、○：副部会長

理事長	732 馬場 章介
副理事長	1361 木村 秀男 1256 大塚 眞一
総務部会	◎1361 木村 秀男 ○489 加藤 久子 1108 山田 美弥子 1068 山科 滋雄 1156 宇田 秀樹 1161 永島 和雄 1225 高橋 眞治 1256 大塚 眞一
経理部会	◎755 岩井 文哉 ○1361 木村 秀男
会報部会	◎1125 佐々木 一信 ○750 小松 勝正 513 青木 方子 1017 光城 保之 1230 吉野 正博
広報部会	◎1068 山科 滋雄 ○1118 肥後 憲尚 489 加藤 久子
ML部会	◎1178 長谷川 愈晃 ○1225 高橋 眞治 1161 永島 和雄
会員部会	◎1230 吉野 正博 ○1118 肥後 憲尚 750 小松 勝正
監事	315 鈴木 剛 512 金子 良三 712 高田 勝弘
相談役	163 宮崎 哲郎
顧問	462 小林 孝 465 橋本 慧

(4) 23年度事業計画

馬場理事長から23年度の事業計画の説明があった。(会報2011年春季号の10頁参照)
「自己責任」を徹底すること及び支部細則の見直しを理事会で検討する事となった。

(5) 南国暮らしの会の現状と将来

会員数はほぼ前年維持で推移すると見られるため、財政的には健全である。今後は会の同好会等をリタイアした人々の受け皿として提供できるのではないかとの理事長の話があった。

(6) 支部活動報告及び活動計画 (2011年会報春季号の4～5ページを参照)

- ①北海道支部 年2回の役員会と懇親会、女性サロン会(3回)、日帰りツアーゴルフ会(2回)。全体として現役世代が多いので会の開催が少ない。
今年度より札幌市でパソコン教室を開催予定。
- ②関東甲信越支部 サロン会&懇親会を11回開催(6月は休会)。サロン会開催前に役員打ち合わせをしている。サロン会に年2回外部講師を招致している。
支部として「ロングステイのための情報交換と仲間作り」の場の提供を考えている。
パソコン教室、テニス同好会を随時開催。また、タイ義肢財団への使用済みパンスト収集提供活動を継続。
- ③東海支部 サロン会&懇親会を毎月1回日曜日に及び平日サロン会を開催。
台湾下見ツアー開催予定。ゴルフコンペ開催(2回)
プロジェクターの活用。ゲストスピーカーの招致(年2回)
例会の最後に「一口英会話」を実施。今年は「一口タイ語」も。
- ④関西支部 サロン会(例会)&懇親会を6回開催。女性の会(ゆりの会)。
ハイキングやゴルフコンペ開催。「英会話クラブ」計画検討している。
役員はベテランと新人をペアとして運営にあたりたい。また、地域が広範囲なので、地区役員を決めて全体のつながりを密にすることを検討。
- ⑤九州支部 サロン会(例会)&懇親会を4回実施。出張サロン会(7回)
プロジェクターを購入したので、もっと活用したい。
指差し会話帳を3/31在籍の会員全員に配布。バーベキュー等の企画。

(7) その他

会員部会より「南国暮らしのお誘い」(小冊子)を作成したので、今後の入会案内に同封するとともに、イベント等開催時の活用を考えていると報告があった。

以上で役員会・支部長会を終了し、会場を変え懇親会を行なった。

平成23年度 役員・業務分担表

平成23年度5月22日現在

◇理事業務分担 凡例◎：部会長・○：副部会長・△；アドバイザー 業務を分割（テーマ、期間）して行う

部門担当	氏名	業務内容
I 理事長	732馬場 章介	・会総括代表・総会、臨時総会招集・現況情報収集・資産の管理 ・理事会、役員会招集・理事会議長・官庁関係資料の提出
II 副理事長	1256大塚 眞一 1361木村 秀男	・理事長の補佐・理事長の事故又は欠けた場合は理事長の職務代行
*総務部会 (事務局)	◎1361木村 秀男 ○ 489加藤 久子 1108山田 美弥子 1068山科 滋雄 1156宇田 秀樹 1161永島 和雄 1256大塚 眞一	・定款（会則）等の改廃・日常運営案の作成・予算案の作成・官庁関係資料の作成 ・総会、例会、懇親会、催し等の企画及び実施、同会費徴収、テーマ策定 ・会場設定、運営、記録、発表、総会議事録作成・各委員会の纏めのチェック ・理事（役員）会テーマ策定資料・理事（役員）会招集実施（会場設定、運営管理 記録、発表）・理事（役員）会議事録作成・税務関係（法人税、資産税等々） ・支部統括・支部活動支援
*経理部会	◎ 755岩井 文哉 ○1361木村 秀男	・入会金、年会費徴収・一般収支・金銭出納記録・決算の事務 ・会費納入票回送
*会報部会	◎1125佐々木 一信 ○ 750小松 勝正 513青木 方子 1017光城 保之 1230吉野 正博	・会報等の原稿収集、編集、整理、校正、印刷、製本、発送 ・会員への情報提供及び会員からの情報収集 ・年3回（新年・春・夏）以上発行
*広報部会	◎1068山科 滋雄 ○1118肥後 憲尚 489加藤 久子	・「南国暮らしの会」ホームページ作成/修正/保守 ・他機関への投稿・新聞、雑誌等の関係情報収集 ・南の会の対外的広報活動・マスコミ取材窓口
*ML部会	◎1178長谷川 愈晃 ○1225高橋 眞治 1161永島 和雄	・メーリングリスト運営
*会員部会	◎1230吉野 正博 ○1118肥後 憲尚 750小松 勝正	・会員入退会・会費等の納入チェック・問合せ者の資料等の作成及び発送 ・会員名簿作成・南の会必携編集作成・問合せ向け「南の会」案内書編集作成 ・会員からの情報収集・会員証発行 ・会報等の送付先の掌握及び宛先シール作成（会報部会と連携）
監事	315鈴木 剛 512金子 良三 712高田 勝弘	・理事の業務執行状況の監査・この法人の財産の監査 ・定款に違反する重大な事実が発見されたら総会を招集し報告又は所轄庁に報告 ・理事会業務執行に対する会員苦情等の精査

注1 理事、監事の業務は本分担表に記載なき事項でも、本会定款に記載ある事項はこれを優先する。

注2 各業務担当理事は各部門の新年度事業計画及び予算申請を3月末までに行う。

相談役	163宮寄 哲郎	・会運営のキャリアを活かし理事長及び理事への支援・その他
顧問	462小林 孝 465橋本 慧	

◆業務についての問い合わせ

役員への業務に関する質問、問い合わせ、要望などは、ご自分の会員番号、氏名、メール・アドレスを明記の上原則、メールで下記あてにご連絡下さい。

なお、各担当役員はL S、旅行等で不在の場合があり、返事に時間がかかることがあります。予めご了承下さい。

問い合わせメール・アドレス：home@minaminokai.com

平成23年度 委員会構成表

平成23年5月22日

- ◆委員会について (委員の委嘱状は発行しない。但し、この構成表が全会員に配付される。)
- ・部会は部会運営上の調査・研究等を委員会に委嘱することが出来る。
 - ・理事会は特別委員会を開設し特命事項を委嘱することが出来る。
特別委員会は、理事会委嘱の特命事項の調査、研究を行う。
 - ・委員会の委員長、副委員長は理事会に於いて選任し、長はその任を遂行する。
 - ・委員長、副委員長は理事が兼務し、当該部会に委員会の議事録にて経過報告を行う。
 - ・構成員は委員長に一任する。但し理事会にその構成員の報告を行う。
出来るだけ有識会員の意向も取り入れた 会発展に寄与する人選をする。
 - ・委員会は出来るだけ半年から一年以内に答申を行う。案件の答申は部会経由で総務部会にてチェック後、理事会に諮り、決定後は当該部会にて業務を遂行する。
但し、単発的な案件は理事会決定後、実行委員会で業務の遂行を行う事もある。
 - ・特別委員会の委員長はその答申を理事会に提出する。決定は理事会に委ねる。

◇委員会及び構成員 凡例：◎委員長 ○副委員長 *理事以外

総務委員会	◎1361木村 秀男 ○1068山科 滋雄 489加藤 久子 1225高橋 眞治 1256大塚眞一 *462小林 孝 *465橋本 慧 *1047関口 幹二
規定・必携編集委員会	◎1108山田 美弥子 ○732馬場 章介 *465橋本 慧
支部推進委員会	◎1161永島 和雄 ○1361木村 秀男 *670今野 力男
経理委員会	◎ 755岩井 文哉 ○1361木村 秀男 *434大野 悦子
会報編集委員会	◎1125佐々木 一信 ○ 750小松 勝正 513青木 方子 1017光城 保之 1230吉野 正博 *1041中西 岩夫 *1067手石方 了成 *1388寺田 和義 *1477小野 耕一
広報委員会	◎1068山科 滋雄 ○ 489加藤 久子
HP委員会	◎1118肥後 憲尚 ○ 1108山田 美弥子 *996歌田 晃一 *1391十河 和夫 各支部より1名
ML委員会	◎1178長谷川 愈晃 ○1225高橋 眞治 1161永島 和雄 *80阿部 功 *625工藤 俊一 *111堀江 幸博
会員担当委員会	◎1230吉野 正博 ○1118肥後 憲尚 750小松 勝正 *923永田 隼人
特別委員会	事業拡張調査委員会：都度任命
	苦情処理委員会：都度任命
国内支部	九州支部長 581朝永 清寿
	関西支部長 891徳永 卓雄
	東海支部長 840岩田 彬
	関東甲信越支部長 1125佐々木 一信
	東北支部長 498氏家 孝
	北海道支部長 609三島 克幸
海外支部	マニラ支部長代行 1269岩崎 宏
	セブ支部長代行 636鶴岡 照郎
	バギオ・パンガシナン支部長227齋木 一
	ダバオ支部長 空席
	ペナン支部長 1020松下 茂
	KL支部長 空席
	バンコク支部長 空席
チェンマイ支部長 54山口 洋二	
ハワイ支部長代行 712高田 勝弘	
パース支部長 空席	
GC支部長代行 586磯崎 興志	

パネルディスカッション

「私の旅スタイル、およびロングステイについて」

関東甲信越支部サロン会にて

下記の4テーマについてパネルディスカッションを実施した。

テーマ1；あなたの旅およびロングステイのスタイル

テーマ2；これまで、経験したトラブル、ハプニングについて

テーマ3；旅、ロングステイに対し、優先度合は何か

テーマ4；旅とロングステイに何を求めているか

パネラー	#0040	平澤	信氏
	#1118	肥後	憲尚氏
	#1136	大野	京子氏
	#1161	永島	和雄氏

司会・進行は #1256 大塚 真一氏 です。



・No-0040 平澤 信 氏

旅歴（概要）

平沢さんは「南の会」創立者の1人。

女1人旅こそ旅の醍醐味を味わえる。

その為には、有名な観光地だけでなく各訪問の先々で庶民生活を直接、見聞する事が必須とされています。また多くの旅仲間と交流され「地球の正しい歩き方」等に関して大学（カルチャーセンター）での講演等、公私共に多忙なお方です。

1人旅を楽しむ達人



・No-1118 肥後 憲尚 氏

旅歴（概要）

肥後さんは、バックを背負い地球を回りめぐる渡世人、またの名をバックを持った渡り鳥。

危険を顧みず、気の向くまま、足の向くまま義理と人情を心情とする。

バックパッカーの達人



・ No-1136 大野 京子 氏

旅歴（概要）

大野さんは 21 年前、ハワイへ 4 ヶ月の語学旅行、その後タイ、バンラデイシュ等、48 カ国を旅行されました。特にグループ旅行、パッケージツアーに熟知されている方です。

パッケージツアーの達人



・ No-1161 永島 和雄 氏

旅歴（概要）

永島さんはチェンマイにロングステイを始めて 5 年、ロングステイの奥意を極めた方です。滞在型ロングステイに関して非常に詳しい。

ロングステイの達人

☆司会/進行

・ No-1256 大塚 真一 氏



冒頭、司会者から、初めてのパネルディスカッションです。 どういう事になるやら不安ですが、優秀なパネラーへお任せしたいと思います。進め方は何点か用意しましたテーマをひとつずつ採りあげ、そのテーマに対して各パネラーのお話を頂き、どんな旅をどんなロングステイを求めているか、各人の姿勢を発言して

戴きたいと思います。

パネラー同士の対話、また、会場からの質問がありましたら是非お願いします。

自分の旅スタイルと比較され良い点を持ち帰って戴ければ幸いです。

なにしろ結論にシナリオのないテーマです。

よろしく協力願います。

テーマ1 ; あなたの旅およびロングステイのスタイル

大野さん

私が旅を始めた時は仕事を持っていました。従って、時間と効率を優先し、その方法としてパッケージツアーを選択、現在に至っている。パッケージツアーの利点は限られた時間で効率的に目的を達成することができる。私は1人での参加（パッケージツアーの中で）が基本です。

何故、パッケージツアーを利用したかと言いますと、先ず旅するのに最大の条件は安全である事、その点、パッケージツアーは予測されない、いろんな状況に陥っても添乗員の方がいる為、安全面を含め、あらゆる面で私の旅のスタイルをサポートしてくれる。

これについては異論が有るかと思いますが、私はこのスタイルを続けています。

それに最近のパッケージツアーは非常に安い、たとえばトルコ12日間で8万8千円でした。それも五つ星ホテルへ泊まりました、通常の航空券のみより安いと思います。

まさに経済的パッケージツアーの時代である。同じ試み、同じ物を得る人との出会い、その結果、多くの友を得る事が出来た。その中には数十年に亘る友として、今もその時の旅の思い出話をする友人もいる。

最近、個人的に世界遺産等を見ようと思っても事前に予約を取らないと見れない事があると聞いています。

その点、パッケージツアーは世界遺産を確実に見る事ができる。

世界遺産に対しては、事前にある程度の知識は得ていくものの、行く先々にガイドさんがいるので詳細はガイドさんから説明を受ける事が出来、利便性が良い。

肥後さん

私は大野さんと対極のスタイルです。

40年前バック旅行へ参加したが自分に合っていなかった。

朝早くから、重い荷物の移動等、また時間に制限があり早々に離脱した。

数回、同様のバック旅行へ参加したが変化はなかった。その後、1人旅を始めた。

6年前、メコン流域へ1人旅を2ヵ月かけて行った。ルートはタイを起点にカンボジア、ベトナム、ラオスである。

その旅ですっかり1人旅の良さにはまってしまった。地元の人、同じ1人旅の人の出会いと別れ、1人旅はエキサイティングで時には感傷的なものである。私はその地での移動は、例え飛行機が有っても極力、地元の人を利用する、船、乗り合いバス等を使い積極的に過酷な旅を自分に課しています。

気に入った町では予定より長く逗留し、地元の生活状況を見ながら、人との出会いを大切にします。

メコン川を2日間かけてスローボートで上流に向かい、その間、住民の人との出会い又、私と同様の旅人との出会等があり、色んな事を見聞することが出来ました。

こんな事もありました、ベトナムからバンコクまで約3週間の旅をしました。

その時、後になり先になりと、各町で会うルクセンブルクの女性がいました。

この女性とはバンコクで別れましたが、この様に旅には出会いと、別れがあります。

とてもエキサイティングであり、自分にとって、1人旅スタイルはピッタリです。

永島さん

ロングステイは生活そのもの、旅と本質的に異なると思います。

従って、他のお三方と同列で旅について論じる事は出来ないと考える。

ロングステイは生活基盤そのものを日本から移すこととなります、その事で日本へのしがらみを断ち切ることができます。・・・私の場合、断ち切れないものもあるが？

しかし同じ場所へ2,3ヵ月住むと飽きる事があります、その時は夫婦で周辺の国へ小旅行をたのしみます。(ロングステイの拠点を拠点に小旅行)

現在のロングステイ拠点であるチェンマイの魅力は先ず暖かい(私は暖かい所が好きです)、食べ物も美味しい、治安も良い、物価も安い、毎日ゴルフも出来、まさに天国です。

*ここで平澤さんからコメント有り

ただ今、お三方が良い話をされましたので一言コメントします。

大野さん団体旅行のメリットをお話されましたが、12日間、8万8千円は高いですよ。

清貧の平澤と言われている私には出来ません。

肥後さん、非常に魅力有る旅ですが、私には体力的に出来ることが限られると思います。

永島さん、本来の南の会が目指したスタイルですね。みなさんと違う様なお話でしたが、外国に住むという観点から見ると同じだと思います。

平澤さん

私の旅に対する考えは・・・。

そうですね60歳～68歳を初期の高齢者、68歳～75歳ぐらいを中期高齢者、75歳以上を～後期高齢者と区分けしています。

基本的に私は南の会、発足当時の趣旨を通して。暖かい所へ長く住む、この様な事が当初、南の会で考えた基本コンセプトです。

暖かい所は東南アジアと捉えがちですが、世界中どこにでもあります。

そう言う意味で私はおおざっぱに5大陸を旅して参りました。

最終的には同じところで住む、そしてそこを拠点に、小旅行をしたいと考えています。

私も1人旅スタイルです。

肥後さんと少し違うのは出かける前はかなり綿密な計画をたてます。

国から国への移動及び滞在期間は何ヶ月と事前に決めています、その国へ入ると足の向くまま気の向くまま行動します。(体力も考慮する)

肥後さんの旅方式と基本的には似ているが体力的な面もあり宿泊はホテルを利用する。

ホテルと言っても日本で言うとビジネスホテルですね。

荷物はバックパックではなく、キャスター付きのバックを使用し、20kg未満に纏め機内に持ち込み出来る様、準備して行きます。

ある時、スリランカでバスを利用したら大阪梅田行きの行き先表示(本来はスリランカ国内のキャンディ行き)が残ったまま・・・笑いました。

しかし周りの人は日本語は読めませんから怪訝そ

うな顔で見られました。

同様の事は他の国でも見られました。

△南米ブエノスアイレスで同様な事例に遭遇・・・紙面の都合上、割愛(編集担当)

この様な事はグループ旅行では体験出来ないと思う。

私の旅スタイルは、その場所でロングステイが出来るか軸足に置く。

また必ず庶民の生活(家庭)を見聞する、これは私の趣味です。

これまで家庭訪問は1度も断れなかった。

(歓迎された)

一般の家庭を訪問出来るのは1人旅の大きなメリットです。

*ここで会場から質問

それぞれ4人個々の旅スタイルとても参考になりました。

その中で大野さんは女性らしく安全を重視してパッケージツアー利用される。

しかし平澤さんは女1旅、私の娘でしたらとても心配でダメだよと言いますが、これまでに怖い目には遭っていないのですか?

平澤さん

よく皆さんから危険ではないかと尋ねられますが40年間一度も怖い目にあつた事はない。

運がよかった?

△後に出てきますが平澤さんは、慎重で用心深い・・・(編集担当)

しかしこんな例もあります、友達のなかで過去に100回以上旅行をしている人で、ありとあらゆる事故に遭っている人もいます。

この人と南米で1か月以上、一緒に旅をしました。この人は大変無用心な方で、たとえば国際バスを長時間利用する場合、多くの方が繰り返し乗降します。私は常に貴重品は椅子の下または手元に置きます。

(盗まれないための常套手段)

しかし、その方は事故を招く事を自らやっている様に見えます。

たとえば初対面の外国人を安易に信用する、その結果変な者に引っかかる。

夜間1人で出歩く、どこの国でも夜間の女性1人歩きは危険ですよ。

私は基本的に慎重で用心深いと思います。
外国に限らず、日本の新宿でも夜は危険と思います。
△如何に危険を回避するか

～本人の感性と経験が大きいと思われる・・・
危険予知が高い？（編集担当）
危険と言えば無鉄砲に普通の家庭を訪問する件で
すが、これについては相手の顔色を見てお願ひし、
訪問しています。
結果として一度も危険なめには遭っていません。

テーマ2；これまで経験したトラブル、 ハプニングについて

肥後さん

ヨーロッパ11回、東南アジアで8回トラブルに遭遇した。
全て回避？・・・それは、それで楽しい経験だった。
ヨーロッパは置き引き、スリが多い、東南アジアではお金のごまかし等、お金が元でトラブルへ発展するケースが多い。
しかしどちらかと言うとヨーロッパの方が危険度合いは高いと思います。
これまで複数回の危険をうまく回避し、それなりに楽しませてもらった感がある。
ヨーロッパで遭遇した具体的事例の紹介をします。
プラハに於いて国際列車の中で大きな荷物を上段の棚へ運んでいたら親切な外人さんが
が手伝ってくれた。
最後の段階（荷物の棚上げ）でその外人さんが手を離したので自分で荷物を支えた、その時足元を見ると貴重品を入れたショルダーバックがなくなっていた。
親切な外人さん？も消えていた。
言葉が上手く通じない中、何とか日本大使館と連絡が取れ、日本大使館へ出向いた。
パスポートの再発行は大変でしたよ、住民票の入手とか処理するまで4日掛かりました。
そのとき外務省の役人の対応はひどかった、ふんぞりかえっていましたが、支え棒を取ると、ひっくり返る状態・・・間を入れず司会者から会場へ外務省関係の人はいないでしょうね？（会場は大爆笑）
たまたま、オーストリアで南の会の人と落ち合う約束が有り、何とか日本からクレジットカードその他、

旅の継続に必要なものを入手し、その後も懲りずに旅を続けた。

しかし、自分が情けなく2日間はくやしくて眠れなかった、3日後には忘れた。

その後の談；
同じようにパスポートを取られた申請中の日本女性と食事する機会があった。

（お互いに慰め合う）その女性は1月前から高級マンションを借りていた。

当方の境遇を察知し、宿泊提供の申し出があった。私達は、その言葉に甘え、数日滞在する事が出来た。親切な人もいますよ、なかには・・・（会場爆笑）
△同類相憐れむ？（編集担当）

永島さん

チェンマイでは危険なめには滅多に合わない。
危険な所へは行かないのが鉄則です。
当然ながら朝の早い時間、夜の遅い時間、人が行かない所は避けます。
普通は行かない場所へ行った日本人が殺された事を聞いた事があります。
従って、チェンマイも絶対安全とは言えません。
私自身、幸いにも危険なめには合っていない。
しかし4年ほど前、スーパーマーケットへ練習用のゴルフクラブを買いに行った時、
タクシードライバーと意思の疎通がうまくいかず険悪な状況に陥った事が有った。
置き引き、かっぱらい、ナイフを突きつけられる等の被害にはあっていない。
しかし銃の所持が自由な国であり、噂では撃たれた人もいる。
タクシー代金に起因するドライバーとのトラブルが多い、しかしどんなに高くても日本円でせいぜい1000円、少ない時は100円程度、その程度で撃たれたら撃たれ損、多少高くても払うのが懸命です。
△トラブル発生の主因はタクシー運賃が本来より高い理由が多い。
・・・他の国も同様の様子（編集担当）
*ここで司会者より永島氏へいじわる質問あり
△司会者とのやりとりは、夫婦間のデリケートな部分まで触れ、長くなりましたので紙面の都合上、永島氏の言われた要旨を簡単に纏めました。
（編集担当）

質問の主旨は夫婦でロングステイに対する見解の差異を尋ねている。永島さん曰く、

・男性と女性は地域（日本）に於ける生活居住空間の条件がさまざまな点で大きく異なる。

・一言で表現すると程度の差は有れ、男性はリタイア後、何をやるか解からない人が多い？

・その点女性は地域へ溶け込み、磐石の根を下ろし毎日が充実している。

・この様な背景が、リタイア男性がロングステイを実践する起点のひとつになっている。

永島さんの話から、夫婦でロングステイを充実して実践するためにはお互いの立場を尊重しあう事が肝要。（編集担当の想像？）

平澤さん

タクシー運賃は一般的に普通より高い。（地元の人への運賃と比較して）

これはあたり前に払う、なぜなら日本人税と思えばよい。

但し、一流ホテルへ泊まった場合、ホテルへ帰る時の行き先は手前のスーパーマーケット

（ひとつの例）を言う、そうすると普通の値段を提示して来る。

（ホテルへ直行すると高い上に高くなる事が有るから注意が必要）

また私は他国へ行った場合、その国の美容院とマッサージによく行きます。

美容院については2カ国の美容院事情をおもしろおかしく紹介された。

△長くなりますので紙面の都合上、詳細は割愛。

（編集担当）

マッサージは日本が一番ですね、タイではひどい目に遭いました。（足の揉み方が強かった）

普段の延長線上に旅はあると考えます、従って、退屈する事はありません。

不安は何が不安なのかを追求するのが重要と考えます。

そうする事によって不安は解消されます。

万一、病気の場合、カード保険（ダイナース）3カ月、その後期限が切れそうになったら CityBank カードを使用する。

（2カ月延長可能）大変ありがたい制度です。

事例として紹介しますと、アフリカで高熱を出した

事があります。

保険会社の連絡先はパリであったが、極めて対応及びサービスが良かった。

（治療の為、特別に飛行機の手配までしてくれる・・・パリから迎えに来てくれる）

この時は保険会社から、お医者さんを頼んでくれて往診を受け事なきを得た。

大塚さんから好きな国、嫌いな国が有るかとの質問を受けましたが、人がそこに住んでいる以上、好き嫌い是有りません、但し、私はカレーが苦手でカレー主食の国（インド、スリランカ、モルジブ）はちょっとロングステイは出来ませんね。

しかし、インドなどは大変興味のある国ですね。

*司会者からここで平澤氏へ質問

普通、一般的に言語で意志の疎通を図りますが、全く言葉が通じない場所ではどの様に対処されていますか？

平澤さん

たとえばインディオ族はインディオ族の言葉のみです、顔はモンゴル系で日本人に似ていますが、でもボディーランゲージで通じます。

但し、その様な所でもホテル関係は言葉で通じます（言葉は色々ですが）、不安ないですよ。

言葉が通じない事は愉快な事ですよ。

（結果として色んな経験/体験ができる）

*会場からの質問

みなさん、どの程度のどの様な危険（被害）を経験しましたか。

大野さんパッケージツアーでの危険性は？

大野さん

ツアーでのトラブルはこれまで全くない、これは個人旅行ではありえない。

逆にツアーだから良かった事を話します。

私はクスコで高山病を発症しました、次の観光地マチュピチュは高度 1600m なので多分症状は改善されると言われました。

しかしクスコへ戻るとまた悪くなることが考えられチチカカ湖の観光を中止した。

チチカカ湖の観光を中止を考慮し、旅行会社が即、リマへ戻る飛行機を手配してくれ、且つ、チチカカ湖の旅行代金を返してくれた。

その後も予定通り旅を続ける事ができた、この様な

事は個人旅行では出来ません。

また最近有った、某国の動乱、テロ等へ巻き込まれた場合、個人旅行ではとても飛行機には乗れませんね。この様な時でも、ツアーは旅行会社が飛行機の手配をしてくれますから安心です。

実際、ポルトガル空港では予定の飛行機が来ない事も有った。

空港係員へ個人的に尋ねても解からないの一点ばりだった。

旅行会社へ連絡した所、当初の予定ルート（ロンドン経由 JAL 乗り継ぎ）を急遽、

別ルート（フランクフルト経由 JAL 乗り継ぎ便）へ手配してくれた。

この様な事を個人で行うのは非常に困難だと思う。もうひとつはハワイ4泊6日のバックの場合ですが、気にいったら手数料無しで

21日間延長出来ます。（追加のホテル代のみ）

この様な事がパッケージツアーの良いところと思う。

*平澤さんからのコメント

大野さん、高山病は当然考えられる病気です。

個人で行く場合は必ず、私はその地特有の環境を事前に十分調査します。

ただいま紹介された南米のツアー、行く前に環境を十分調査しましたか？（用心不足では）

平澤さん曰く、体がなれる様少しずつ薬を飲む事を進めます。

その場所へ3ヵ月も居れば体が慣れてきますよ。

大野さん反論、薬は持っていたが利かなかった。（事前に高山病の事は想定していた）

その他、酸素呼吸器の着用等も試みた。

また、無理をした70歳ぐらいの男性は軽い肺炎になりました。（肺に水が溜まる症状）

△単なるパッケージツアー愛好家とは違う、パッケージツアー達人の心意気を垣間見た。

他に、関連するお話がありましたがいづいに制限が有り割愛。（編集担当）

肥後さん

私はバックを取られました。

バックの中身はパスポート、ヨーロッパ鉄道周遊券（10数万）、現金700ユーロ（1ユーロ/170円）、クレジットカード、カメラ、メガネ等、併せて約35万円の被害を受けた。

特に老眼鏡、妻の老眼鏡をかけて捜しまわったが見つからず・・・残念。（会場爆笑）

クレジットカードでの補償戻りは20万円だけでした。入っていた保険の範囲は現金、周遊券等は対象外だった。

バック等、買った物は保障範囲という事でチェコ語で書かれた色んな物を補償請求した

結果、限度額の20万円となった。

△一部詳細内容は諸般の事情より割愛。（編集担当）

*会場からの質問

大野さんパッケージツアーは時間的な余裕がないのではないのか？

私はJTBパッケージツアーでトラブルに遭った。

また結果として一定期間内にあまりにも多くの場所を見て回るのでも何も残らなかった。

その後、パッケージツアーは敬遠しています。

大野さん

予定が狂った事は有ります。

チェコスロバキアで国境を越える時、当初3時間の予定が10時間かかった事がある。

そのため、その後の予定が全て狂いました、

ただ、今は多種、多様のパッケージツアーがあり、その中では連泊出来るツアー等もある。自分にあったツアーを選ぶ事が可能である。

ユッタリしたツアーも多くあります。

たとえばクワラルンプールのバックを利用した時の事ですが、途中私は離脱してマラッカへ行きました、最後に帰りを延ばす事でバック旅行を楽しみました。

この様なパッケージツアーも有ります、多くの選択肢が有り自分に合ったバックを選んだら良いのではないかと思います。

*会場から個人的な意見（質問ではない・・・感想）

旅にはいろんなスタイルがある、自分に有った旅を見つける。

基本的にはロングステイがベースとなるのではないのか。

今日のパネルディスカッションは様々な旅スタイルが有る事を再認識させて戴いた。

テーマ3 ; 旅、ロングステイに対し優先度合いは何か

永島さん

全ての旅に関するファクターが評価の対象になります。

南の会の場合、暖かい所がひとつの基準になるのではないかと思います。

たとえばチェンマイの場合を見ると。

良い所取りが見られます。

北海道の人で寒い期間チェンマイにステイし、北海道が暖かくなると帰国される、この様な事を繰り返されている方もいます。(11月から45月ぐらいまでチェンマイで過ごし帰国)

また、チェンマイ、その他の国を回ってステイされている方もいます。(日本を含め4か国)

どなたに伺っても、まずは気候、風土が良い所を最優先にされています。

自分自身もその様に思います。

チェンマイは何故良いかと言いますと、まず気候、風土が良い、それに安全である。

命に係わる事が少ない。

しかしチェンマイでもトラブルは有りますが、しかしそれは一部であり危険区域へ近づかなければ問題ありません。

また、病院の設備及び関係するカード保険運用についてはチェンマイ及び東南アジアは全般的に完備している。

特にチェンマイでは日本語が通じる病院が3か所あります。

病院へ事前にtelをして調整して行ったらキャッシュレスが可能です。

カード保険はお金がかかりません、日本の3割負担より良いと思います。

次に重要と思うのは、「自分がそこで何をやるのか、何がやれるのか」が重要な選択肢のひとつと考えます。

他の外国人を含め多くの方がステイしていますが、多種、多様の過ごし方をしています。

司会者から永島氏へ質問、チェンマイ以外のロングステイ候補地あげるとしたら？

そうですね、チェンマイ以外のロングステイ候補地として、私としてはハワイ、ダバオ等を

考えています。

私は夫婦一緒なので、極力ご夫婦が多く滞在されている所が良いと考えています。

平澤さん

第一にはやはり私はこの会の設立当初から関わっていたものですから、暖かいところへ住もうという事から端を発しています。

気候の良い所、冬暖かい事を念頭に置いて、それから、出来るだけ同じではない所、これまで行っていない別の国を探しています。

大野さん

まず安全優先、それと気候・・・ロングステイするのであれば気候ですね。

ロングステイでしたら1か月未満ですがポルトガルのカスカイへ行きたいと思っています。

肥後さん

私の優先順位は、まず時期(季節)を優先します。サラリーマン時代は夏休み、春休み、冬休みと自由な時間がありましたがその時期は価格が高かったですね。

今は毎日が日曜日ですから自由です、好きな時期を選択できます。

でも、やはりハイシーズンはホテル代も航空券も高いですね。

従って、時期を少しだけずらし極力安いタイミングを狙い時期を設定します。

訪問先の1番良い季節の1か月前後、ピークを外した時期を選びます。

ヨーロッパでは夏、アジアでは乾季、移動型旅では、雨は避け、洗濯物が良く乾く季節、宿探しも楽ですし、価格も安い。

2番目は、期間です。

ユツタリと旅をするには、1~2か月間必要だと思います。

3番目は行き先選びです。

1人旅の時は、過酷で、エキサイティングな旅が出来るアジア、夫婦2人旅の時は街歩きが楽しい様なヨーロッパの町を選び、ユツタリと旅をしています。

この後、意外な方向へ

肥後さん曰く、話は少し外れますが

(相当外れている?)

大体はボディーランゲージで通じる事の実例を話

します。

1年前のチェンマイ滞在時の話ですが、ある時、顔見知り（近所）の美人女性、5人が来ました。

（同行の1人は元スチュワーデスで美人に加え、英語も堪能？）

その中の某女性がストレスから便秘になったそうです。当然、便秘の薬（コーラック）を持っていたのですが、それを飲むとゴルフプレー中に下痢になったら大変と言う事で、5人は相談の結果、浣腸が良いとの結論に達したそうです。

浣腸を買う為、美人の2人（内、1人は元スチュワーデスの方）がチェンマイの薬屋さんへ行きました。ところが浣腸がどうしても通じず、最後は悪戦苦闘、ボディランゲージで必死に説明したそうです。

結果は通じましたよ。・・・（会場大爆笑）

この後、司会者、平澤さんへ振る、平澤さんは胃腸が弱いと伺っていますがこのような時の処置方法はご存知でしょうか？

平澤さん曰く、私は海外では便秘ではなく下痢がほとんどです。

△この後、下痢に関するエピソード続く、紙面の関係で省略しますが司会者、尚も浣腸の件を聞き出そうと食い下がるが・・・。

平澤さん曰く、考える時間を頂く事で一件落着。・・・（編集担当）

テーマ4；旅と、ロングステイに何を求めるのか 肥後さん

私は非常に好奇心が旺盛です。

家に居ても好奇心は満たしてくれません。

旅は好奇心を満たしてくれます。

そう言う事から、これからも移動型の旅を続けます。

大野さん

私は旅先で出会った友を大切にします。

ツアーでは同じものを同じ目で共有する事が出来る。30年前出あった友達と今でも会い、その時の感動を思い出話に花を咲かせます。

日本では得られない感激、私がもう一度行きたいのはモロッコのサハラ砂漠です。

あの地の星空には感動しました。

これからも感動を求めて旅を続けます。

永島さん

私はロングステイをやっていますので、まずロングステイで現役時代、自分のやりたかった事をやりたい。少しでもその可能性（環境）を大きくしてくれるのがロングステイです。

サラリーマン時代はやりたかった事を横に置いて、団塊の走りですから仕事に追われ出来なかった。その分、取り戻せるなら取り戻したい、その方法のひとつがロングステイであり大きく言えば私の旅である。

平澤さん

私は特別に気負った考えはありません。

日本で生活している延長線上にあると考えます、その中で非日常を拠所なく体験する。

仕事の第一線を退きますと一般的に若者と接する機会が少なくなります。

欧米では少ないですがある国で東大生グループ（6人）と何泊かする事が有り、たのしい思い出でした。モロッコの田舎町、ワルザザールと言う所なんです。日本人はいないと思っていました。ホテルの人から日本人が三十数年、住んでいるよと教えられ尋ねていきました。

50歳ぐらいの方で現地の方と結婚し生活されました。

生活は日本と比較し、うらぶれた生活をなさっていました。

その方は帰るに帰れない状況にありました。

私はそういう方を多く見てきました。

マイナスではなく心にズッシリと重く残る物でした。

加えて旅に出ると、本では味わえない多くの体験を出来るのが旅ではないでしょうか。

司会者

本日は大変ありがとうございました。

いたらぬ進行、司会へおつきあい戴きありがとうございました。

すばらしいパネラーのみなさんへ今一度、盛大な拍手をお願いします。ありがとうございました。

END

初めてのチェンマイ

北海道支部 No.742 池田 邦彦

2010年11月1日から12月14日まで約1ヶ月半と2011年2月14日から12日までの約1ヶ月、合わせて2ヶ月半初めてチェンマイを訪問した。

チェンマイは、南国暮らしの会の中でも、特に最近大変な人気で、南国メールを見ているとひっきりなしに「チェンマイ訪問します」「チェンマイ訪問の御礼」などが見られる。

当然のことながら、冬は厳しい寒さに曝される北海道でもその寒さから逃れようと、多くの会員の方が冬になるとチェンマイへチェンマイへと旅立っている。

北海道支部の年2回の情報交換会、その後の懇親会ではチェンマイの話題で持ちきりで、チェンマイに行っていない者はローカルな話になると話の輪に入って行き難い。

南国暮らしの会に入会した当時は、南方の国での長期滞在、それも海が見渡せる場所での滞在を夢見ていた為、今までは主に海の近くの滞在地ばかり体験旅行に行っていた。

そんなことから、陸の真ん中、しかも盆地であるチェンマイには余り魅力を感じず、何となく興味も無かった。

しかしながら、情報交換会、懇親会での皆さんの話を聞いていると、1回、2回の訪問ではなく、数年間も毎年訪問している方が多く、そんなにチェンマイは魅力的なところなのかと次第に興味を沸いてきた。

それではと、チェンマイについて少し調べて、皆さんの話と総合してみると、

- ①タイの第2の都市とは言え、バンコクと比べると可也規模的には小さいものの、かと言って田舎と言うには大きく賑やかな街であるらしい。
- ②バンコクより500Kmほど北にあるので、南国といえども11月から3月に掛け

ては然程暑くない。但し4月、5月は猛暑である。

- ③田舎の雰囲気が残っていて、人々が親切で温和、且つ親日的ある。
 - ④従って、治安が良く、大きな犯罪は殆どない。(尤も、タイ全体でも他の東南アジアの国々と較べても治安は良いが・・・)
 - ⑤物価が日本の1/3から1/6と安い。しかし自動車など高級品は日本と同じかそれ以上ということである。
- というようなことが分かってきた。

チェンマイに関する様々な情報については、これまで多くの方が会報やメールなどで紹介しておりますので、チェンマイに行かれたことのない方でも、チェンマイがどんなところであるかご存知の方も多いかと思う。

勿論、チェンマイに行かれた方、特に何回もチェンマイを訪問された方にとっては、このレポートは退屈なものでしょうが、それを承知の上で兎に角、感じたままを思いつくままに述べさせて頂くこととした。

今回のチェンマイ訪問で、驚いたこと、感心したこと、なるほどと思ったこと、不思議に感じたことなどチェンマイ初心者の気持ちを出せるだけ素直にお伝えすると次のようなことが挙げられる。

1) お年寄りの方の姿が殆ど見当たらない

このことに気付いたのは、街の交通事情からであった。

チェンマイの街中のメインストリートと云われる道路は、片側2車線で1m弱程の中央分離帯がある道路だが、この通りは車やオートバイがひっきりなしに走っている。

この街では車優先が常識なので、歩行者は車とバイクの間を縫って横断しなければな

らないのだが、そのタイミングの難度は極めて高く、無事渡り終わるとホッとす。

そこで思いつくのが、押しボタン式信号機だが その押しボタン式信号機のある横断歩道を渡っている時でも、特にバイクは信号機など無いかのごとく歩行者の前後を通過する。

しかも、押しボタン式信号は歩行者の横断時間が10秒で、信号が青に変わった瞬間からプツ、プツと音を出して、表示が10、9、8、7、・・・と残り秒数が表示される。

我々健常者でさえも、この10秒間で渡り切るには早足か、少し駆けなければならない。

更には、この押しボタン式信号機があるのは1箇所だけで（一回目の訪問時は1箇所しか見つけられなかったが、2回目の訪問時、数Km離れた場所に2箇所見つけた）その前後数百メートルには見当たらない。

そこで、フトッ思ったのが、お年寄りや身体の不自由な方はどうやってここを渡るのだろうかと言う疑問であった。

答えは簡単でした。

お年寄りは街中には出掛けないのである。

この国は敬老の精神が高く、ある程度年をとると、若者が面倒をみるため、お年寄りは家の中にいるか、自宅の近所を散歩する程度で街中には出掛けないのである。

又、平均寿命が日本よりはるかに低い為、お年寄りの数自体が少ないということも、お年寄りを見かけない理由であった。

2) この暑い中でオーバーを売っている

11月を過ぎると気温は多少下がるとは云え日中は30度を越す暑さである。

半袖Tシャツを買いにデパートに行った。

大きなデパートなので洋品店も多く、気に入ったTシャツくらいは直ぐに見つかるだろうと思って行ったのだが、不思議なことに半袖Tシャツは殆ど見当たらない。

長袖Tシャツは沢山吊り下がっているし、よくよく見ると、厚手のシャツやセーター、更には防寒衣である羽毛の入った上着やオ

ーバー、皮のジャンパーまで売っている。

この暑いのに皮ジャン??、オーバー??

これは一体何なんだろうか?

そこでチェンマイ暦7年のベテランチェンマイ通に尋ねてみた。

その御仁の答えは簡単で、「今、冬だからね」だった。

年中暑いこの国なのだが、11月頃になると流石に気温は下がってくる。

この国の人達は寒さに一種の憧れがあって北の方に住んでいる人々が、カッコ良い皮ジャンやファッション性の高い冬物衣料を着ていることに我々の想像を超えた想いがあるようだ。

そう思って町に出ると、セーター、ジャンパー、コート等の冬物衣料を着た人がワンサといた。

3) 食べ物には抵抗あったが、慣れれば・・・

私は外国に行ったら出来るだけその国の食べ物を食べるように心掛けている。

勿論日本食は食べなれているし美味しいので何回かは日本食の店に行ったが、日本に帰れば日本料理は黙っていても食べられると思えるだけ現地の料理を食べるように心掛けた。

タイの料理はおしなべて辛いものが多い。

この辛いのが大の苦手なのである。

更にテーブルの上には、赤唐辛子、青唐辛子 ラー油など辛い香辛料が沢山置いてある。

不思議なこと（現地の人にとっては不思議ではないのだろう）にそれらの香辛料に混ぜて砂糖のビンが置いてある。

現地人はテーブルの上のこれらの調味料をどのように使っているのか横目でチラチラ見てみると、驚くことに、唯でさえ辛い料理に唐辛子をどんどん振りかけ、更に仰天することは、最後に砂糖を加えてそれらを混ぜ合わせているのである。

もう一つが魚醬であり、あの独特な臭いには、兎に角降参である。

この魚醬も日本のレストラン、食堂のテー

ブルに醤油が置いてあるのと同じようにタイのテーブルの上には必ず置いてある。

それも、ビールの中ビン程のビンに入れてられて置いてあるところを見ると、それだけジャブジャブ使う人が多いということだろう。

でも「慣れ」というのは、恐ろしいというか、不思議と言うかトータル2ヶ月半の滞在で辛いものもそれなりに美味しくなってきたし、ナンプラーの臭いも然程気にならなくなったどころか、少し振りかけて食べてみるという芸当まで出来るようになった。

4) ソンテウとトゥクトゥク

チェンマイの乗り物は何と言っても、写真のような 2トントラックの荷台部分を改造し向かい合わせに8人から10人が乗れるソンテウである。



昔のミゼットを改造し後ろに2～3人乗れるようにした下の写真のトゥクトゥクも街中至る処にみられるポピュラーな乗り物だ。



しかし、トゥクトゥクはどちらかと言えば観光客用の乗り物で、ソンテウよりは割高で寺院などの観光場所で待機して客を拾う。

一方ソンテウは街中を常に走り廻っており、手を挙げれば何処でも停まってくれ、値段も20バーツ(60円)と安いので、やはりチェンマイの交通の主流はソンテウである。

バスやタクシーも走ってはいるが、殆ど見掛けない。

では、タイの交通手段はチェンマイ以外の他の地域でも同じなのであろうか。

チェンマイに滞在した2ヶ月半の間に、バンコクとチェンマイの丁度中間にある世界遺産の町スコタイに一回、バンコクに2回小旅行をした。

先ずスコタイであるが、チェンマイであれほど沢山走っていた2トン車改造のソンテウは全く見られず、当地のソンテウは4トン車を改造した大型ソウテウで、荷台の両側と真中に座席があり、一台に30～40人は乗れるものである。

又、トゥクトゥクもチェンマイのものとは違い客席が運転手の前についているか、横についた形であった。

バンコクではソンテウは全く見られず、トゥクトゥクも観光客の多いしかるべき場所に行けば見られるらしいが、今回2回のバンコク小旅行では一台も見かけることは無かった。

バンコクの主な交通手段は日本と同じで電車、バス、タクシーである。

日本では日本中何処へ行っても交通手段に差は無いが、何故タイではこれほどの違いがあるのだろうか。

5) キティーちゃんのマグカップ

世界遺産の町スコタイにロイカトーンのお祭りを見に行った時のことである。

因みに、ロイカトーンのお祭りはスコタイから始まったお祭りで元祖ロイカトーンの町であるらしい。

レンタル自転車を借りて世界遺産を見て廻った後、何百軒有るとも知れないお祭りの屋台を覗きながらぶらぶら歩いている内、喉も渴いてきたのでビールでも飲もうかと大きな道に面した一軒の店に入った。

早速ビールを注文したのだが、注文を聞いた、その店のオーナーとおぼしきお婆さんは、何やらタイ語でペラペラしゃべり一向にビールを持って来ようとしなない。

ビヤー、ビヤーと何度言ってもダメなので、タイの有名なビールの銘柄、シンハー、チャン、レオなどと何度と言ってもこれも通じない。

少なくともチェンマイではこんなことは無かったのにと、考えあぐねていると、お婆さんは、ブツブツ言いながら奥の方に引っ込んでいった。

暫くするとキテーちゃんの図柄ついた明らかにお子様用と思われるマグカップに何やら液体を入れて持ってきた。

連れの一人はそれを見て「なんだ～こりゃ？ふざけんじゃね～ぞ～」と冗談交じりに言った。

お婆さんは人差し指を立てて口にあて盛んにシーツ、シーツと訳の分からないしぐさをしている。

中をみると液体の上に氷が浮いている。

日本ではある種のビールを除いてはビールの中に氷を入れて飲むようなことはしないが、タイではビールに氷を入れて飲むのは「常識」なのである。

ヒョットすると思ひ、口をつけてみると案の定、中身の液体はビールなのである。

この店ではビール用のコップやジョッキがないのかと思ひながら、まあ入物は何でも、「中身はビールなのだからいいか」と、やっと出てきた冷たいビールに満足した。

お婆さんは、マグカップの中のビールが無くなると直ぐに奥の方に持って行き、ビール瓶からマグカップにビールを入れて持ってきて、この作業を何回か繰り返してくれた。

ビールも飲み終り勘定を払う頃になって、

何故こんなマグカップでビールを飲ませ、お婆さんがシーツ、シーツと言っていたのか、あることをふと思ひ出し其の謎が解けた。

日本ではお祭りといえばお酒は付き物で、それでお祭りも盛り上がるし、活気も出るが反面、ハメを外して喧嘩などの騒動も起きる。

タイではお祭りの時、アルコールは自宅でこっそり飲むことは許されるらしいが、屋外では禁止で、勿論店でも一切ご法度なのだ。

表通りから丸見えのその店で、ジョッキ片手に「カンパーイ！」などとやっていたら直ぐにおまわりさんが飛んで来て、我々は勿論、その店もきついお叱りを受けた筈だ。

そこで、我々の'熱心な?'要求に何とか応えようと知恵を絞って考えたのがキテーちゃんのマグカップなのだった。

考えてみれば我々の行為は違法だったのだが、もはや時効ということでお許しを頂きたい。

6) 蜘蛛の巣のような電線

チェンマイの電線の張り方は、日本人から見れば尋常ではない。



上の写真にあるようにチェンマイの電線は蜘蛛の巣の様に張り巡らされている。

長さが余った電線は何重にも巻かれた輪にして電柱の近くにぶら下がったままだ。

大きなビルへの引き込み線は、数箇所から電線の束が入り込んでおり、それらの線を合わせると一つのビルに繋がっている線は

30～50本にもなるから驚きだ。

7) 我が北海道の特産物が・・・

全国的にもその名を知られる北海道の特産物の一つである夕張メロンがチェンマイのスーパーマーケットにマンゴー、パパイア、ドラゴンフルーツなどの南国の果物と並んで売られていた。



一瞬目を疑ったが、へたには小判型をした金色の札が付けられ、日本語で”夕張”とはっきり書かれている。

念を押すように、その札には朱色の角印まで押されているのである。

英語で Japanese Premium Melon と表示されていて、気になる値段は1個139バーツ、日本円で417円弱であり日本で買うよりもはるかに安い。

気になったので、帰国後近くのスーパーへ行ったら夕張メロンを探したが、この時期3つのスーパーの何処にも売っていなかった。

8) やはりチェンマイの病院は素晴らしい

以前に年に2回開催される北海道支部の情報交換会で、チェンマイの病院に入院された方の報告を聞いた。

その方の話を要約すると、

- ①入院時の部屋は個室でホテル並みの広さがあり、トイレ、洗面所など必要な設備も全て整っていた。
- ②食事は病院食とは思えないほど豪華で美味しく充分満足出来た。

③日本語が話せるスタッフが常に見廻りに来て容態や、不足なものはないかなど細かく気を配ってくれ何の不自由も無かった。

④支払はカードの付帯保険で全額支払えた。ということであった。

今回、チェンマイ訪問中に10日間も咳が止まらず、熱も出始め、丁度その頃南の会の会員から会員メールでチェンマイにインフルエンザが流行っているとの通報もあった為、幸か不幸か病院のお世話になる機会を得ることになった。

①病院の受付に行くと、日本人と知るや、直ぐに日本語が話せる若い女性のスタッフが応対してくれ、病状や支払について尋ねられた。

②カードで付帯保険を使いたい旨を告げると、JCBとVISAに電話をして、カードの保険使用が可能か否かを確認してくれた。

③事務処理を終えると、そのスタッフが付き添って医者待つ部屋に案内され、聴診器による診察を受けた。

医者はタイ人で日本語は話せなかったが、スタッフが全て通訳し医者に伝えてくれた。

④その後、インフルエンザの検査、レントゲン検査、医者の再診、薬の受取、支払いまでスタッフは親切に説明しながら付き添ってくれ何の心配もなく一連の処置を終えることが出来た。

結果としては、単なる気管支炎で5日分の薬を貰い4日目には咳きも治まりバンバンザイだったが、それよりもチェンマイの病院で実際に診察を受け、チェンマイの病院がどんなに素晴らしいかを知ったことは、今後チェンマイステイをする上で大変貴重な体験となった。

病院には英語は勿論のこと、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語など様々な国の言葉を話せるスタッフも常駐していると聞いた。

タイの医療体制は大したものである。

9) 天気予報を見たことが無い

チェンマイ滞在中での大きな楽しみはゴルフが出来ることである。

特に雪で閉ざされゴルフが全く出来ない北海道人にとってこの時期ゴルフが楽しめることはこの上ない幸せである。

日本でゴルフをする場合誰もがその日の天候が 晴れなのか、雨なのか、更には小雨なのか一時雨なのか一週間前から気になって週間天気予報を見て一喜一憂している。

ところが、チェンマイで天気予報を見ようとアチコチのチャンネルを廻すのだが、どのチャンネルを廻しても天気予報はやっていない。

唯一、NHK World のチャンネルでニューヨーク、パリ、ロンドン、モスクワ、東京など世界主要都市の世界の天気予報をやっているが、そこでバンコクの天気予報は見る事が出来る。

どこかの放送局でチェンマイの天気予報を放送している筈なのだが、結局2ヶ月半の滞在中には見つけられなかった。

でも、その内、この時期チェンマイでは天気予報は全くと言って良いほど必要が無いことが分かって来た。

毎日晴れで日々の変化が無いからである。

おまけに風は無いかそよ風であり、日本と言う強風というような風は一度も体験しなかった。

従って、次のゴルフ予定日に雨が降るかどうかなどの心配は全く無く、雨に弱い我々高齢者ゴルファーにとって、チェンマイは正に天国なのである。

毎日晴れと言うことは、どこか近隣へのツ

アー参加の場合もその日が雨になることはないし、日本の主婦の方々が心配するお洗濯日和も全く気にすることはないのである。

ただ、今回の一回目の訪問の最後の日の夕方と2回目訪問時の最後の2日間の夕方にパラパラと小雨が降った。

更には、帰国した2～3日後には何と40時間も続けて雨が降ったらしく、こんなことは今まで全く無く、今年は超異常の天気らしい。

尚、誤解を招かないよう追記するが、チェンマイ歴の長いチェンマイ通の方にお聞きしたら、天気予報はあるが、日本の天気予報の様に精度の高いものでなく殆ど当たらないとのことであった。

最後になったが、今回のチェンマイ訪問に際しては、多くの方にお世話になりましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げたい。

特に、出発前に何時間もさいて、チェンマイでの留意点や市内の銀行、コンドミニウム、ショップ、レストラン観光場所など地図で分かり易く懇切丁寧に説明頂いたS氏、と現地到着の第1日目、右も左も良く分からない時に、何軒かのコンドを一緒に探して頂き、携帯電話の購入等にも親身になってお世話して頂いたI氏に対しては心より深く感謝を申し上げたい。

改めて「南国暮らしの会」の絆の強さと有難さを感じた「初めてのチェンマイ」であった。

この指とまれ「フィリピン ダバオの旅」

関西支部有志

この指とまれパート3

ダバオ下見ツアー

関西支部 No.811 山本 嘉雄

昨年6月例会にて3か月ダバオ生活の体験を発表したのが、ことの発端。

1回目はチェンマイ、2回目はコタキナバル・ペナン・KLと各支部の協力とお世話をかけながらの下見ツアーでしたが、今回は関西支部の独力での下見ツアー。

参加を募った結果、20名（夫婦5組）。コア日を平成23年2月28日～3月8日にして、航空会社はLCCのセブパシフィック。

宿泊は単身者民宿3か所で分宿、夫婦組はウオーターフロント・インシュラーホテル、長期滞在者はドミトリー。

各自旅行滞在日が違いますが、滞在中はコア日を中心に下記の項目を募る。

オプション参加項目

- 1 観光（市内・日本歴史資料館・エデン等）
= 17名参加
- 2 アイランドホッピング、体験ダイビング=
=一艘借り切りで現地滞在者と一緒30名
- 3 日本人立ち上げた孤児院訪問（1泊）=
= 14名（夫婦3組）
- 4 ラフティング（河下り）=====
=現地滞在者と21名
- 5 ビーチ（パラダイス、パームファーム）
- 6 モール、両替、病院、アパート見学等
- 7 現地滞在者との交流・食事会
- 8 ゴルフ、ジム、英会話、マッサージ、各種レストラン

オプションの目玉は孤児院（1泊）訪問でした

が、ゲストハウス4室8名定員のところ14名が参加、さすが関西支部。それぞれの持ち味を發揮し、孤児との交流を深めました。皆様結構芸達者ですね。

各種オプションの内容は参加者に披露してもらいますが、偉大な田舎ダバオを少しでも知ってもらったと思います。

ダバオは観光地ではありません。なにもありません。ただ、のんびりと避寒を楽しむところかと。日本人も少なく、ビーチも近く、勿論ゴルフ・ジムも安く、安い乗り物ジムニは安心。かくしてリピーターになります。たまたま民宿は住宅街にあり、一応、ガードマンが出入口に駐在し、治安も安心。朝夕の涼しさは散歩に最適。途中参加のハワイ在中のD氏いわく「風」が素晴らしい。

フィリピン人の陽気さ、明るさ、フレンドリーは つとに有名ですが、メイドさんの明日誕生日なの。知りたくないよ。オーマイ ゴッド！

最後にダバオでも各種ボランティアが結構活発です。長期滞在者はそれぞれ参加しているようです。これもまた、滞在先の国に対する日本人の感謝の気持ちの表れの一つで、嬉しいですね。



「この指とまれ Part III ダバオ」一行です

アイランドホッピング 関西支部 No.800 橋本 航三郎

南の会関西支部「この指とまれ」のメンバー19名とダバオに滞在している、東海支部の方、「ダバオ生活改善委員会」の方々10名の総勢29名でダバオから対岸の島へ、船一艘チャーターしての島めぐり&シュノーケルのイベントです。

3月5日ダバオサンタナポートに9時集合。

全員9時にはサンタナポートに集合、待つことしばし、希望者（殆どの人）がシュノーケルのセット（マスク、シュノーケル）を借りる為に、レンタルショップへ、しかし既に他の客の予約で当日貸し出すセットは無しとのこと。

このあたりがおおらかなCS（顧客満足）でしょうかね。

後でアテンドするお兄さんが、駆けずり回ったのでしょうか、10人分のマスク（水中メガネ）とシュノーケルを確保してきました。

チャーター船は定員40名ぐらいの、両脇に船を安定させるために補助浮が張り出したこちらだけでなく、東南アジアでよく見かける船でした。

10時過ぎに港を出航、船は飲み物をふんだんに積み込み、心地よい風に誘われビールがこれまた美味しい。

島の手前20Mから30Mのところに船を止めシュノーケルの開始、沖縄の慶良間や宮古でシュノーケルを経験しているので、さぞ荒れたサンゴ礁と思いきや、結構綺麗なサンゴ礁でした。

今回参加した多くの人達が綺麗な海に堪能されたようです。

シュノーケルの後は、島に上がり海の家に似たヤシの葉で葺いた休憩所で昼食をとり、午後は船での島めぐりの予定でしたが……

船が島を離れるとすぐにエンジンがオーバー

ヒートしてエンストになりました。

一度動き出して、また停止で都合2時間ぐらい漂っていました。

お客様は人生経験豊富な人達です、多少の事にも動揺することなく、昼寝をする人、周りの人と話をする人、それぞれ時間を過ごし、最後には同じ会社の船に曳航されて港まで行くことになりました。

これも現在の日本ではなかなか見られない光景でした。

船が港に着くと現地の子供たちが「ギブミーワンペソ」と手を差し伸べてきた一人に参加者の一人が20ペソ（40円）を渡されたようで、その人に子供たちが群がってきたので、奥様が20ペソも渡すからと小言を言っておられました。

船を借り切ったの知った仲間たちとの楽しい一日でした。



アイランドホッピング用の
船から下船風景、40名乗り



アイランドホッピングです

ダバオお誘い旅行から 関西支部 No.672 丸山 百合子

① 荷物が無い！！事件

セブ航空で行きましたが、私たちはマニラで一旦荷物を引き取り、新たにダバオまで預けるというチケットでした。3名で同時にチェックインしたにも関わらず、何故か私の荷物のみマニラでなく、初めてロストバックとなり、旅早々夢のダバオから悪夢のダバオに変わりました。マニラ空港で急いで両替したり、楽しく語り合ってる仲間を見ながら、一人寂しくロストの手続きをしました。「なんで私だけこんな目に会うの？・でもしょうがないよ。何があっても不思議じゃない。だってここはフィリピンだもの」と自分に言い聞かせていました。運よく荷物はダバオ空港で出てきて、要は関空～スルーで行った訳だったのですが、そんなこと知らない私にはあの3-4時間は地獄でした。このまま帰りたと思っていたし、頭の中ではずっと明日どんだけの物を買ったらいいか考えていました。

特に女性は身近に必要な物も多く、荷物がいかに大切かを思い知りました。そこで教訓として学んだ事は「ロストになってもいいように、すぐに必要な物、絶対いる物は手荷物に入れよう！！」ということです。よく言われていることなのですが、誰しも自分の事としてとらえていないので、つい見逃しがちですが、やはり自分の身に起こりうる事なのですね。今回いい経験をしました。本当にこれが笑い話であって良かったです



丸山さん、ダバオ空港で荷物が出てきて大喜びです。

② ダバオの仕立て屋さん

数年前チェンマイへ行った時、白の夏ドレスを作ってもらいました。日本では高価なので私は仕立てた服など1枚も持っていないのですが、東南アジアでは仕立賃が安いから、ぜひ今回も作って貰おうと、生地は日本で用意していました。スカートとそれに合うブラウスと、あとは雑誌の切り抜きのブラウスと合計3枚オーダーしました。結果スカートとブラウスは現物をサンプルとして預けたので、同じのができて気に入ったのですが、雑誌の方は写真だけで現物がなかったせいか、「なんじゃ コラ！」といった白物でした。写真も大きくスタイルも解るはずなのに、どこをどう間違ったらこうなるの？と言いたくなるものでした・当然家に帰ってすぐにゴミ箱行きです。合計2100ペソ。

教訓：サンプルを持って行き、これと同じようにしてもらうのが最も安全な方法です。

やはり日本人気質とはかけ離れているので、怒らず気長に対処すべきです。私も随分怒る事がありました。何回も呼びつけられたり、採寸するからと言われた時間に行ってもいなかったり。いつも2時間近く待たされ、怒りまくりました。そこのお国に合わすしかありませんね。

このお店は町中のきれいな店でやはり外国人対象なのでしょうか？

現地の方に服を見せ、1着700ペソだと言うと呆れていたもので、多分高いのでしょうか。

ハウスオブジョイ訪問記

関西支部 No.632 河南 裕子

今回のダバオ旅の一番の目的は日本人が運営している孤児院「ハウスオブジョイ」を訪問することでした。

目的の「ハウスオブジョイ」は滞在中の市街地から車で3時間30分のサンイシドロという地方の果樹園や海に近い静かな環境の中にありました。

広い敷地の中に子供達の住居、図書室、講堂、事務室、大学の先生の部屋、ボランティアの部屋などがあり3歳から18歳までの37人の子供



ハウスオブジョイの建物です。

たちが生活していました。

子供達がハウスオブジョイに入所している理由は、貧しくて親が育てられない子・学校に行けない子・虐待を受けている子・などで近隣の人たちからの通報や国からの依頼があると院の職員が出かけて引き取ってくるそうで兄弟姉妹で入所している子も何組かいました。

運営は教会関係の寄付や経営しているホテルとゲストハウスの収入で国からの補助は全く無いとのことでした。日本の数校の大学がハウスオブジョイでのボランティア活動を授業の一環として取り入れているとのことでした。私達が行った時は摂南大学の学生が4人活動していました。

初日は院長の烏山さんからオリエンテーションを受けた後プライベートビーチへ行きました。学校がある日だったのですが先生がお休みのクラスの子供たちが一緒に来て大阪から来たおじさん、おばさんと仲良く海で遊びました。

お昼は新鮮な魚料理や現地の椰子ワインで満腹。

夕食後、慰問に来られた隣町の教会の方々と私達のために子供たちが歓迎会を開いてくれました。

歓迎会の司会進行は子供達の企画でしたが、歌や踊りを披露してくれました。恒例になっているのでしょうかとても手際がよかったです。私達も手品や盆踊りを披露しました。

子供達はたくさんのプレゼントを貰って「クリスマスみたい！」と喜んでいました。

翌日は朝から院のプライベートビーチでシュノーケリングをする予定でしたが前日の雨で海



ハウス オブ ジョイの
子供たちの演芸です。

が荒れていたのがゲストハウスで烏山さんから子供達のことや院の運営などのお話を聞いて過ごしました。

子供達は皆明るく人懐っこく伸び伸びしておりバックグラウンドの暗さは全く感じられません。烏山さんの話しでは院の子供達は学校の成績も上位だそうです。自分より小さい子の面倒見も良く、お手伝いも含めて自分で出来ることは進んで自分でしていました。

2日間の滞在でしたが、孤児院の子供達は不幸だという先入観や子供達の親に対する怒りの感情を抱いていた私でしたが、烏山さんはこの国の貧困、教育の低さなどがもたらしている現状を気負わず淡々と受け入れておられる姿に接して、子供達を引き取って教育を受けさせておられる目的の一部に触れたように思いました。ここに居る子供達が衣食住の心配なく教育を受けられ、入所する前より整った環境におかれていることに安心し、ここで教育を受けた子供たちが成長し大人になったとき同じことを繰り返さないことを祈りながら帰途に着きました。

ダバオのゴルフ場
関西支部 No.173 平山 三雄

ダバオには3箇所のゴルフ場しかありませんが、それぞれ特徴があり全く違ったコースです。初心者及び女性の方々には、男性キャディがやさしくおしえてくれます。

次表に各ゴルフ場の特徴等を纏めてみました。

	アポGC	パロス・ベルデスGC	シティーGC
類似したチェンマイGC	ランナーGC	グリーンパレーGC	ハンドンGC
グリーンフィー	1, 100ペソ	1, 225ペソ	950ペソ
キャディーフィー	280ペソ		
カートフィー	-	① 550ペソ	-
キャディーチップ	100ペソ	350ペソ	50ペソ
交通費(往復)	タクシー1/2人 250ペソ	② 自家用車	タクシー1/2人 170ペソ
*1 合計(現地通貨)	1, 730ペソ	2, 125ペソ	1, 170ペソ
*2 合計(日本円)	3, 460円	4, 250円	2, 340円
良いところ	チャンピオンコース	施設が充実	近い・廉価
悪いところ	チョット遠い	高額	9ホール
特徴	戦略性が求められる	日本的なコース	支払いシステムが簡素
	歴史があり本格派	③ 女性キャディー	④ ラウンドレッスン
	⑤ クリークが多い	綺麗	⑥ 砲台グリーン
ホールインワン	?	10, 000ペソ	⑦ 5, 000ペソ

*1 メンバー同伴時のゲストフィー

*2 1ペソ：2円で換算

- ① 歩きは無理。
- ② タクシーの迎えが無いため。
- ③ 他のコースは男性キャディー。
- ④ 男性キャディーが親切に教えてくれる。(皆さん上手い！)
- ⑤ 他のコースには殆んど無い。
- ⑥ 殆んどが砲台Gで花道が無いが、バンカー

は浅い。

- ⑦ 滞在中に達成者有り。(本会員以外の日本人女性)

ダバオには3箇所のゴルフ場しかありませんが、それぞれ特徴があり全く違ったゴルフコースです。初心者及び女性の方がたには男性キャディーが優しく教えてくれます。



日本人墓地です / フィリピン ダバオ



ドリアン市場で / フィリピン ダバオ

旅行三昧の日々で～～す。

マレーシアペナンより

ペナン支部長 No.1020 松下 茂

私は57歳で早期退職し58歳でペナンへ移住して、早や4年が過ぎ5年目に入りました。

日本を離れ“夢”であった海外生活を実現することが出来たのも、たくさんの人々の手助けや助言のおかげだと感謝しております。

今、現在も充実した日々を過していますので、ペナンに移住して本当に良かったと思っています。

海外で生活するうえで特に必要なものは何かといえば、それは各自の趣味ではないでしょうか。

有り余る時間を自分の好きな趣味でいかに過ごすのが海外移住の成否を握っているといっても過言ではないでしょう。

年金システム崩壊の危機を乗り切る政府の主導で日本では早期に65歳定年が当たり前になりそうですし、仕事が趣味の方々は65歳まで働ける環境が出来て一安心かな？

人生1度限り、体が動くうちに働くのではなく自分の趣味に生きる、自分の“夢”を実現することの大切さを感じていただきたいと思うこの頃です。

ペナンでの日々の生活は、私の第一の趣味であるゴルフが週5回プレイの“ゴルフ三昧生活”であります。

ゴルフを終え自宅に戻り、海を見ながらゆっくりとお昼寝することが毎日の日課となっています。あーあ極楽、極楽！

私にはもう一つの“夢”があります。それは“世界遺産巡り”です。

“目指せ！世界遺産訪問100ヵ所”の目標を立て、70歳までには達成させたいと思っています。

2011年6月現在で、世界遺産の訪問ヵ所は44ヵ所です。まだまだ道半ばです。

これを達成させる為のファクターは

- ① 健康な体と意欲
- ② 自由な時間
- ③ 妻の理解と協力

④ 資金

① は日頃からのゴルフとジム通いで自信があります。

② は私たちリタイアメント同志の誰もが持っている価値あるものです。

③ は普段のコミュニケーションと妻のあきらめか？

問題は④ですね。これは、私たちがマレーシアに住んでいるので何とかクリア出来そうです。

それは格安航空会社“エアアジア”の存在です。

昨年より、日本の羽田便も就航して、皆様もご存じのようです。

現在、シンガポール航空を抜き、東南アジア最大の航空会社になったそうです。

64歳までは老齢年金基礎部分のみしか受け取れない私ですので、その中での海外旅行の強い味方、リタイアメントの人々御用達ではないでしょうか。

今年より、さらに路線はフランスのパリ、ニュージーランド便が増設されました。

まだまだ来年に増えるのが楽しみです。

それでは、この1～2年の私の旅の訪問先と今後の予定をお知らせしましょう。

	【2010年度】	料金(RM)	(円)
3月	ベトナム (ハノイ)	RM292	8100円
4月	スリランカ	RM361	10100円
5月	バリ島	RM532	14800円
9月	成都 (九賽溝)	RM694	19400円
10月	パース	RM645	18000円
11月	香港・マカオ	RM443	12400円

【2011年度】

1月	台湾	RM690	19300円
2月	インド (デリー)	RM587	16400円
4月	マニラ	RM576	16100円
5月	メルボルン	RM673	18800円

※料金は一人の往復料金です。 いずれもKLからの目的地までのすべての航空運賃です。

今後の予定です。

7月	上海・杭州	RM541	15150円
8月	フランス(パリ)	RM1527	42756円
10月	ニュージーランド	RM1201	33628円
11月	ジョグジャカルタ	RM325	9100円
2012年1月	ラオス	RM285	7980円

この旅行の間に、日本にときどき帰りますので毎月旅行に行っている感じです。

ああ、何と忙しく動いているんでしょう！



それでは、エアアジアの利用方法ですが、インターネット予約で、年何回かのプロモーションが実施されますのでその際、半年先のチケットを予約します。最近ではメールでプロモーションをエアアジアから送ってしてくれます。

私たちリタイアメントの特権であります、毎日が日曜日(サンデー毎日)ですので、安い価格の日に旅行の日程を合わせます。

要するに、

“料金優先でそれに日程を合わせる”

これが安く行く最大のポイントです。

予約時に、荷物の料金が加算されます。

一例ですがアオストラリアのパスまでの料金は

15 Kgまで	RM 45	20 Kg	RM 60
25 Kg	RM 105	30 Kg	RM 125

です。

私達は、極力荷物を少なくし暑い国に行く時には、15 Kgまで、冬期の国には20 Kgに抑えます。それに、機内持ち込みバッグとリュックを背負

います。帰りの便には、さらに布バッグを手で提げます。ゴルフバッグは特別料金で高いですので、短期の海外旅行ではしないと決めています。なにせ、ゴルフはペナンで安くやり放題ですからね。

機内食は、有料ですのでインターネットで予約すると割安ですが私達は基本的に注文しません。

家でおにぎりを作って行って食べたり、KLのLCCT(ローコストターミナル)でハンバガーやサンドイッチを買ったりして済ませます。

続いて、座席指定も有料ですが、短距離の場合は指定しません。

長距離(パリ・NZ・AUS・中国)などへのエアアジアXのみ指定します。

夫婦で遠く離れた座席になったりしますが、たまにはいいかもね。

これ以外に、インシュランスと空港使用税とTAX、それに、今まではなかったのですが、サーチャージがプラスされます。



サンプルとしてクライスト・チャーチ(NZ)の料金の明細を表記しておきます。(2名分です。)

Flight	RM 1894
Airport Fee	RM 78
Airport Tax	RM 248
Insurance	RM 58
20 Kg	RM 100
Total	RM 2378

前記しました往復料金はこのすべてを含んだ料金です。

そして、KLのLCCTターミナルの発着、到着が早朝や深夜の場合には、ターミナル近くのホテル“Tune Hotel”を利用します。

このホテルは、エアアジアの子会社です。

東横インのホテルをもっとチープにした感じと表現したらよくお分かりかと思えます。

ペナンの中心ジョージタウンにもあり、プロモーションで1泊RM10などの料金がでできます。

尚、L C C TのTune Hotelはいつも満員でプロモーションはほとんどありませんが、1泊RM70～RM90(2500円)が標準の価格です。

ここもユニークな価格設定になっています。

部屋代にクーラー代金(6時間)とタオル等がプラス(セットでRM15)されます。

だが、部屋はダブルベットにバスタイレがついただけの究極の狭さです。

私は、“宿泊するのではなく寝るのみ”のホテルと呼んでいます。

今までの失敗談や問題点を挙げてみましょう。

インターネット予約ですので、日付を間違わないことが大切です。

国際便はほとんどKLからの離発着ですので、ペナンからの乗り継ぎ便の日付けを間違えました。夜行便だと翌日到着なのに当日に予約を入れてしまいました。

出発前に気が付き、翌日を再予約しました。

このときの料金は、RM10(ペナン～KL)でしたのでキャンセル無しで捨てました。

それに、キャンセルや予約の変更は市内の営業所に行けば出来ますが、言葉が通じないですし通常料金ですので高くなり、なるべく変更しないほうが良いようです。

予約時の確認が特に重要ですね。

ある方の事例ですが、通常予約を入れると、即メールで予約Noと確認が送られてきますがたまに来ないことがあります。

予約が出来ていないと思い、3度も予約を入れたそうです。

もちろん、予約はされていて、カード決済で処理され3回分引き落とされたそうです。

その後の確認はしていませんが、お金が戻ったかどうか。おそらくは戻っていないのではないかと思います。

格安航空券を買ったのに高額チケットになってしまいますね。

他の航空会社との違いは、乗り継ぎ便の荷物の受け渡しです。目的地まで自動で乗せ換えをしてくれますが、エアアジアは各便ごとに荷物を預けなおす必要があります。

これは非常に不便ですね。

最近は少なくなりましたが、ペナン～KL間、ペナン～バンコク間などの1日に何便かある路線では、たまに便の統廃合があります。

要するに午前便がキャンセルで午後の便に自動的に変更されるのです。

メールで連絡は来ますが困ったものですね。

そういえばMH(マレーシア航空)でもKL～ペナン間はよくあるかな？

いろいろ問題点もありますが、すべては“安い”ということで帳消しになってしまいますね。

マレーシアに住んでいる私達の最大のメリットがエアアジアの利用で安く海外旅行ができるということかもしれません。

日々のゴルフとジムでの筋トレなどで体力増強をはかり、健康で体が続く限り継続していき私の夢である“目指せ！世界遺産訪問100カ所”の実現に向かって頑張りたいと思っています。

ゴルフ三昧、旅行三昧の海外生活で毎日が忙しくて年をとる暇がない私です。

妻は、“私には羽が生えているようだ”と言っています。

尚、ペナン情報、旅行記などのブログを開設していますので、興味をお持ちの方はご覧ください。

”メロママ&じーじの旅日記“

<http://blogs.yahoo.co.jp/sigma57>



ヨーロッパ4か国、気ままに夫婦二人旅

関東甲信越支部 No.434 大野 悦子

昨年、私共夫婦は結婚30周年を記念に、夫婦だけで旅をしようという事になり、体力の有る内にヨーロッパへ行こうという事で、まず、第1弾として、昨年の6月にフィンランド、ノルウェー、デンマークを2週間半の日程で周遊しました。この時は、事前にすべて日程を決めて動きました。第2弾は、10月にスペインを3週間半で、マドリッドから入り、バルセロナから日本へ帰る日程だけ決めて、あとは自由気ままな旅行をしました。

そして今回の第3弾は、30日間でオランダ、ベルギー、フランス、オーストリアの四か国を周遊しました。事前に用意したのは、成田からアムステルダムへの往復航空券、アムステルダムのホテル5泊、ユーレイル・セレクトパス：4か国選択（ベネルクス3国、フランス、ドイツ、オーストリア）10日間有効（1人58,900円）です。あとは、行き当たりばったり旅行を決行しました。

5月9日（月）に10：45発、KLM862便で成田からオランダのアムステルダムに向かいました。アムステルダムは、乗換えでは5～6回ほど来たことはあるのですが、泊まるのは初めてで楽しみにしておりました。アムステルダムに14：30着。空港からはホテル・シャトルバスを利用しました。空港からホテルまで往復で1人、25€でした。ちなみにタクシーだと片道50€です。

ホテルはダム広場の近くのヘーレン運河沿いにある「レンブラント・クラシック」です。チェックインの時に、翌日に行くキューケンホフへのツアーの申込みもしておきました。最初にホテルのフロントに15€を払い、残りは、翌日にツアー会社に払うシステムでした。お部屋に荷物を置いて少し休憩してから、早速、街に繰り出しました。ホテルから歩いて2～3分行くとダム広場で、その向かいに王宮があり、

その間にある大通りをまっすぐ行くと中央駅です。歩いて7分位。5日後には、ベルギーへ列車で移動するので、下見がてら中央駅に向かいました。この中央駅の建物は、東京駅のモデルとなった建物です。時刻表などを確認しておきました。帰りにレストランに寄って夕食を食べ、ホテルに戻りました。

5月10日（火）は、この度の旅行の一番の目的のキューケンホフへ出掛けるのですが、午後12時に迎えが来るまで、午前中は、ムント広場近くの運河沿いにある花市場に歩いて出掛けました。10軒ほどあり、チューリップ、スイセン、アマリリス、など球根類もどっさりあり、観光客もいっぱい来ていて、写真を撮る人が多かったです。12時前にホテルに戻り、迎えの車に乗り、集合場所に着き、バスに乗る前にツアー会社のカウンターに寄って、残金を支払い、出発。1時間位でキューケンホフに着きました。自由行動で、夕方5時にバスに集合すればOKとのこと、早速、公園内を散策しました。花の盛りは4月ですので、心配しておりましたが、やはり、チューリップは7～8割がた終わっていてがっかりでした。その代り、シャクナゲの花が見ごろで、木々も大きくて素敵でした。他に、温室などの建物でアマリリスや紫



キューケンホフ公園内

陽花の鉢植えが飾ってあり、球根栽培の歴史の展示館なども見て、4時間ほど公園内で過ごして、アムステルダムに戻りました。(ツアー代金：1人、41€)



5月11日(水)は、午前中、国立博物館へホテルから散策しながら出掛けました。その後、その先のミュージアム広場を挟んでコンサートヘボウがあるので、当日売りのチケットが手に入ればと思い寄ってみました。売り切れとのこと、またの機会にしました。その後は、船で運河めぐりをしました。1時間の船旅で1人、13€でした。

5月12日(木)は、風車で有名なザーンセ・スカンスへ行きました。アムステルダム中央駅からアルクマル行きの列車で約15分、コーン・ザンディク駅で下車。駅から歩いて10分ほど行くと橋があり、それを渡るとそこがザーンセ・スカンス村です。村全体が博物館的な存在で、観光バスが何台も並んでいました。ザーンセ地方特有のグリーン色の壁に白い窓枠の家が並んでいてメルヘンチックでした。風車の中を見ることが出来、屋上からの景色も素晴らしかった。午後3時頃に一旦、ホテルに戻り荷物を置いてから、街を散策していたらインドネシア料理店を見つけ、良さそうだったので中に入って注文しました。深さが浅めの大きな井に下の方にライスがあり、その上に野菜とお肉や魚が載っていて美味しかったです。一人前 9.95€でした。(写真参照)

5月13日(金)は、世界最大の花の取引所、



インドネシア料理

アルスメール生花中央市場へ出掛けました。月～金7:30～11:00まで見学出来るという事で、アムステルダム中央駅前で172番の8時15分頃のバスに乗り、約40分で着きました。バス代は往復、2人分で13€です。通勤時間帯でしたので、一般の通勤客も乗りますので結構込みますが、市内を出るところには空いてきました。郊外に入り、途中に団地があり、運転手さんによると、ここに日本の工場に勤務している日本人が住んでいるそうです。市場に着き、建物に入ると2階から見学出来るようになっていて、以前、TVで中継しているのを見たことがありましたが、その規模の大きさに驚き、全体をカメラに収めるのが困難でした。色とりどりの花が大きなかごにいっぱい積まれて先導車に連結されて、忙しくあちこちへ運ばれていました。途中にセリをしているブースがあり、窓からガラス越しに見学出来、正面の画面とパソコンの画面を見ながらセリをしている様子が見てとれました。(入場料：1人、10€)

この帰り道にコンサートヘボウの前を通った時、6月5日と6日にもう一度、アムステルダムに泊まるのを思い出し、その夜のコンサートのチケットを購入しました。この時は、ラッキーと思いました。

5月14日(土)は、ベルギーへ移動です。これからいろいろな国へ移動しますので、荷物を軽くすることにしました。30日間ですし、お土産も買うので二人とも大きいスーツケース

を持って来ました。主人のケースの中身を半分にして、私のケースに入れ、私の荷物も厳選したものを主人のケースとリュックサックに詰めて、私のケースをホテルに預けることにしました。

早めに中央駅に行って、時刻表を確認し、案内掲示板を確認したところ、7:53発の案内が出ていなくて、案内所で聞いたところ、変更されており、7:59発でそれもスキポール空港駅で乗り換えになっておりました。11:30頃、ブリュッセル中央駅に到着しました。ここからは、ホテルを予約していないので、ホテル探しです。

駅前の広場で私が荷物番をし、主人が身軽になって最初のホテルを探しにいきました。10分ほどして戻って来て、わかったようで、荷物を持ってホテルに向かいました。ビジネスホテルですが、3つ星で「アルマ」という名のホテルです。1泊、朝食付きで225€で3泊することにしました。ちょっと高めですが、中央駅から歩いて5分、グランプラスもすぐ近くで便利ですので決めました。3年ほど前に改装したばかりで綺麗でした。部屋に荷物を置いて、早速、グランプラスへ出掛けました。その後、ギャラリー・サン・チュペールも見て回りました。夕食は、ムール貝の酒蒸し(10€)とシーフード・パエーリア(16€)を頂きました。

5月15日(日)は、2泊後に行く予定のブルージュへ下見とホテル探しに出掛けました。中央駅から約1時間で着きました。ロンリー・プラネット社のガイドブックに「ブルージュでこれほどロマンティックで素晴らしい場所にあるB&Bは他にはない」と、載っていた「Guesthouse Nuit Blanche」を目指しました。先ずその前に、インフォメーション・センターに寄って詳しい地図を50セントでゲットしてから探しましたが、看板などもなく、一度、通り過ぎてしまいました。もう一度、通りの角まで戻って探し、建物の扉をよく見たら小さく書いてありました。インターホンを押すと、小柄な男性がフレンドリーに出迎えて下さいました。オーナーのDavidさんで、ガイドブックによる

と彼はフランドル派の画家で哲学的な絵を描く方だそうです。宿泊の予約をしないと伝えますと、パソコンを持ち出して来て調べてくれましたが、5月17日から3泊は無理で、17日だけ空いているとのこと、1泊でもラッキーと思い、早速、予約しました。そして、次のホテルを探しに出掛けました。「ルレ・ブルゴンディシュ・クライス」に行き、18日と19日は、空いていて予約が出来ました。その後、マルクト広場に行ってみるとネパール政府の観光イベントが開催されていて、舞台では踊りが披露され、周りのテントでは、物産展をやっており、ネパール料理も売られていて、ぎょうぎに似ている「モモ」を買って頂きました。焼きたてで美味しかったです。そして、夕方、ブリュッセルに戻りました。

5月16日(月)は、中央駅を挟んで、グランプラスの反対側のブリュッセル公園や王宮の脇を抜けて、ルイズ広場へ行き、午後からは、グランプラスの西にある証券取引所の前にマリオット・ホテルがあるのですが、その裏の中華街へ行ってみました。レストランやスーパーがあり、スーパーへ入ってみると大きくて、野菜や果物などの生鮮食品やお米やカップラーメンもあり、奥には、冷凍食品も豊富でその他、大福もちなどのお菓子も日本語で書かれたものがいっぱいあり、3種類ほど買って味見をしました。日本の醤油や海苔、お茶もありました。他に、台所用品も売っていて長期滞在も可能かなと思いました。

5月17日(火)、今日は、いよいよブルージュへ移動の日。そこで荷物を軽くする為、昨日、買っておいた機内預け可能サイズのキャリーバッグ(50€)に3日分の荷物を入れ、主人の大きいケースは、ブリュッセル南駅(パリ行きの時に経由)のコインロッカーに預けて出発しました。1時間でブルージュに着き、駅からは歩いて15分でお目当てのゲストハウスに到着。オーナーのDavidさんが優しく迎えて下さり、早速、3階のお部屋に案内して下さいました。中世の時代の造りですが、ベッドは、電動式で快適で、ベッドサイドには、冷蔵庫が備わって

いてミニバーもあり、音楽が聴けるようにオーディオ設備も整っていて現代的になっていました。南側の窓を開けると、目の前に聖母教会が聳え立っていて、それはもう、とてもロマンティックです。その後、オーナーが地図にお奨めの散策コース A.B.C の 3 コースをマジックで色を替えて印をつけて下さり、その中にお奨めのレストランやお土産物屋さん等も印をつけて下さいました。早速、先ずは、A コースを巡ってみることにしました。そこには、地元の人買い物に来るお店がいっぱいあり、スーパーなどもありました。昼食は、マルクト広場にある、レストランで頂きました。その後、ブルグ広場の方へ散策して、夕方には運河クルーズもしました。(1人、6.9€)

5月18日(水)朝食は、希望の時間に準備して下さるとい事で、8時半にお願いしました。私達だけの為に1階のダイニング・ルームにテーブル・セッティングがされていて、それがまた素敵で、オーナーが一つ一つ、料理の説明をして下さり、味もミシュランの3ツ星クラスでした!!食後、庭に出て、記念写真を撮って頂きました。その後、チェックアウト(1泊、朝食付きで175€)を先に済ませ、次のホテルのチェックインまで時間があるので、荷物を預かってもらって近くの美術館巡りをしました。正午前に戻り、オーナーと玄関前で記念撮影をし、荷物を受け取り、次のホテルへ移動しました。「ルレ・ブルゴンディッシュ・クライス」に着き、チェックインした後、マルクト広場で毎週水曜日に開かれている「青空市」を見に出掛けました。広場は、お客さんが溢れんばかりで、大粒の苺が深めのパック入り4パックで5€、アメリカン・チェリーも大粒で甘くて1kg:3.99€、この2種類を購入。その他、野菜やお花もあり、お弁当屋さんもあり、一番人気のベトナム料理のお弁当屋さんで、ライスを1パックとおかず3種類、電子レンジで温めてくれて6€でした。ホテルに戻って頂きました。

5月19日(木)「ルレ・ブルゴンディッシュ・クライス」は4ツ星ホテルで、朝食が1人:22.5€という事で、楽しみにしておりました。テ-

ブルや椅子も豪華で、パンやハムやチーズの種類が豊富で果物もいろいろあり、卵料理は希望の料理方法で調理して運んで来てくれました。今日は、Davidさんお奨めのCコースを散策しました。運河沿いに素敵な家があったり、お花が綺麗に咲いていたり、途中のレース博物館では、歴史ある作品を見たりしました。博物館の先へ歩くと、風車が見えてきました。その川沿いまで行って、街の中心へと戻るコースでした。

5月20日(金)今日は、ブリュッセル経由でパリへ移動する日。朝食後、荷物を整え、チェックアウト(1泊:2人分の朝食代も入れて210€×2泊)して、マルクト広場からバスでブルージュ駅へ、そこから列車でブリュッセル南駅まで行き、そこで、コインロッカーに入れていた主人のケースを取り出し(4€×3日)、荷物の整理をしてから、パリ行きの列車に12時頃乗り込みました。約1時間20分でパリ北駅に到着。パリでの滞在先は、ホテルがいっぱい集まっているサン・ジェルマン・デ・プレと決め、メトロ5日券を2人分(29.9€×2)購入して4番線に乗りサン・ジェルマン・デ・プレ駅で下車。ホテルの予約をしていないので、まずは、ホテル探しです。出口の真向いに「サン・ジェルマン・デ・プレ教会」があり、その少し北のジャコブ通りにある、「Hotel de Angleterre」に行きましたが、今日から4連泊は無理で、2日後から4泊を予約して、3~4軒隣の「ホテル・ダニューブ」(3ツ星)に行き、今日と明日の2泊分が予約出来、チェックインしました。(1泊、朝食付き250€)

5月21日(土)朝食は、コーヒーか紅茶にパンを3個載せたお皿をボーイが持ってくるだけで、3ツ星クラスのホテルにしては、ちょっとがっかりでした。パリは、10泊の予定で、その後は、オーストリアのウィーンに行く予定にしている、列車では12時間半ほどかかる為、飛行機で行くことにしました。そこで、オペラ座の近くにあるエール・フランスの事務所へ行きチケットを購入しました。(2人分、894.40€)土曜日でしたが営業していて、大勢の人が来ていました。その後、近くのレストランで昼食を

とり、午後からは、ルーブル美術館へ行きました。37年前にも来ましたが、相変わらず人気の美術館で長蛇の列でした。人気の作品の前には、人だかりが出来ていて記念写真を撮る人でいっぱいでした。「モナリザ」がやはり、一番人気で、遠く離れた位置でしか見られなくてズーム・アップで撮りました。(37年前は、すぐ近くで見る事が出来ました。)

夕方、オペラ座のすぐ北にある、「ギャラリー・ラファイエット」へ寄り、その賑わいぶりを見てきました。ガイドブックによると「毎日10万人が世界中から訪れる」そうです。最上階にあるレストラン(フードコート・スタイル)で夕食を頂きました。

その帰りのメトロの中でスリに遭いそうになりました。オペラ駅から乗り、私達の他にも日本からの観光客も3~4人同じ車両に乗り合わせていまして、混んでいましたので入り口付近に乗っていたところ、次の駅から14~15歳の小柄な若い男女5~6人のグループが乗り込んで来て私達日本人を狙って取り囲みそうになり、私はとっさに奥に逃げました。ガイドブックにメトロではスリに注意するようにかいてありましたので、用心はしていました。男の子が、主人が用心して鞆を押さえている手を離させようとして「What time~?」と聞いてきたので、主人は、その手には乗らないぞと相手にしなかったのですが、相手はしつこく「何時?」と言うので、主人は、「うるさい!!」と一喝しました。そうこうするうちに一駅が短いので、次の駅に着くとスリ軍団は逃げて行きました。一緒に乗り合わせた日本人の方々も「危なかったですね。私達も鞆を触られました。」とおっしゃっていました。

5月22日(日)今日は、次の「ホテル・デ・アングレツェ」に移動しました。今回の旅行は毎日、一か所だけメインの場所を堪能して、あとは、その行きや帰り道のぶらり散歩を楽しむといった方法で過ごしております。そこで、今日は、ホテルから歩いて15分ほどのところにある「オルセー美術館」へ行くことにしました。この美術館も人気があり、ルーブル美術館に負

けない長蛇の列で、ちょうど「マネ展」が開催されていて、玄関前の広場で何重もの列が出来ていました。ここには、アングル、ドラクロワ、ミレー、印象派のモネ、マネ、ゴッホ、セザンヌなど近代絵画の巨匠たちの珠玉の作品が数々あり、堪能しました。(入場料、1人、10€)

また、ここには、宮殿のような内装の豪華な天井画やシャンデリアのあるレストランがあり、ここで昼食を頂きました。

5月23日(月)アングレツェ・ホテルの朝食は、パン、ハム、チーズ、ヨーグルトが食べ放題でコーヒーと紅茶もお代わり出来て満足でした。朝食後、お土産物が一杯溜まってきたので近くの郵便局へ行って日本へ小包を送りました。大きい箱で7kgまでOKで、(ついでにいらなくなったガイドブック、衣類等も入れ)それを2箱、日本まで86€でした。1週間ほどで届くとのことでした。

パリ13区にイタリア広場があり、その近くに中華街があると、ロンリー・プラネット社のガイドブックに載っておりましたので、行ってみました。サン・ジェルマン・デ・プレ駅からメトロの4番線でポルト・ドルレアン方面に乗り、ダンフェール・ロシュロー駅から6番線に乗り換え、ナシオン(Nation)行きに乗り、4つ目の駅「プラス・デイタリー(Place d'Italie)」で下車。メトロの出口を出てChoisy Av.を南に向かって歩いて10分ほど行くとレストランや土産物屋、食料品店、スーパーなどが見えてきました。その先に「フォー13」、「フォー15」、「フォー99」などの看板が目につき、一番流行っている「フォー13」のお店に入って、フォーと生春巻きを注文しました。やはり美味しかったです。帰りにスーパーで果物が安くて新鮮でしたので、アップル・マンゴー、ぶどう、チェリーを買って帰りました。

5月24日(火)今日は、セヌ川の右岸の中心寄りにある、ポンピドー文化センターへ歩いて出掛けましたが、休館日でした。でもこのユニーク(工場のプラント?)な外観を見るだけでも面白く、外の広場にはいろいろな彫刻作品もありました。次に「ヴォージュ広場」へ行

ってみると、ちょうどお昼時でお天気も良かったので、芝生の上で日光浴や、お弁当を広げて食べている人達で混んでいました。私達も途中で買っておいたサンドイッチを芝生の上で頂きました。ホテルへの帰り道、ノートルダム寺院の前に出ましたので、寄ってみることにしました。観光客が大勢来ておりました。中に入り、15分ほど見た後、26日以降のホテル探しをする為、サン・ジェルマン・デ・プレに戻り、近くのホテルを10軒ほど聞いてみました。しかし、全仏テニスの試合が行われていた時でしたので、4連泊できるどころはなく、そこで、グレード・アップして4ツ星のホテルへ行って聞いたところ、1泊、朝食付きで360€とのこと、探し疲れていたし、旅程も半分を過ぎ、疲れも溜まって来ていたので、ここに決めました。

5月25日(水)今日は、スーパーの大手チェーン店「モノプリ」へ行ってみました。メトロのサン・ジェルマン・デ・プレ駅のすぐ近くにあり、1階は、衣料品や化粧品売り場、地下は、食料品・キッチン用品などがあり、軽食が食べられるコーナーもありました。午後からは、リュクサンブール公園へ出掛けました。面積25ヘクタールもある広大な公園で中央には、噴水があり、綺麗な花々が咲き、芝生が植えてある周りにベンチがいっぱい置いてあり、どのベンチも座って寛いでいる人が一杯で、この日は雲一つない青空で最高の景色でした。

5月26日(木)今日は、次のホテルへの移動日。その前に、またまた溜まったお土産物を日本へ送る為、郵便局へ小包を出しに行きました。大きい箱3個になり、138.15€でした。ホテルに戻り、チェックアウト(1泊、朝食付き:220€×4泊)して、次の「オテル・デ・ブシ」へ向かいました。11時半でしたので、まだ準備が出来ていなくて、荷物を預けて、街へ出掛けました。カフェでゆっくり過ごして13時半にチェックインして、夕方、また街の散策を楽しみました。

5月27日(金)は、凱旋門の方まで、散策しようと出掛けたのですが、曇っていて寒くて、昨日まで暑いくらいでしたので、薄着で出掛け

た私は、寒くて、我慢出来なくなり歩くのも辛くてホテルに戻りました。思えば、3週間近く、一日も休まず、毎日、毎日出掛けて歩き回っていたので、とうとう疲れが出たのです。この後、部屋で夕方まで、寝てしまいました。

5月28日(土)昨日、ぐっすり寝て、疲れがとれたので、今日は、セヌ川を水上バスで遊覧することにしました。乗り降り自由の、一日券(1人、14€)を買って、サン・ジェルマン・デ・プレから乗り、ノートルダム方面へ進み、植物園から右岸側へ移動して、パリ市庁舎、ルーブル、と進んで、シャンゼリゼで降りました。そこから、シャンゼリゼ通りへ行き、いろいろなお店をみたりして凱旋門まで行き、また、シャンゼリゼ乗り場まで戻り、水上バスに乗り、次のエッフェル塔で降りました。少し散策して水上バスに戻り、サン・ジェルマン・デ・プレで降りました。その後、セヌ川のほとりを散策して、レストランで夕食を食べ、ホテルに戻りました。

5月29日(日)は、フォンテーヌブローへ行くことになり、まずは、リヨン駅まで、歩いて行きました。30分ほどかかりました。そこから普通列車で約40分のところにあるフォンテーヌブロー・アヴォン駅で下車。駅から町の中心までは、Aのバスに乗り、約15分。バスを降りると、すぐに公園の入り口が見えてきて、そこを歩いていくとイギリス庭園になっていて奥に進むと宮殿が見えてきました。

1時間ほど見学して、街のレストランで昼食をとり、バスで駅に戻り、午後3時発の列車でパリに戻りました。

5月30日(月)は、ウィーンへの移動で、7時20分にタクシーが迎えに来て、シャルル・ドゴール空港に向かいました。10時発のユール・フランス機でウィーンへ、約2時間で到着。シェンゲン協定実施国からの入国なので、入国審査もなくて楽でした。ホテルを予約していないので、空港内のインフォメーションで予約を取ってもらい、「スターライト・スイーテン・ホテル」を3泊予約することが出来ました。ホテルまでは、空港からリムジンタクシーで約

30分でした。(35€)

ホテルの前には市立公園があり、メトロの駅もあって、とても便利です。部屋は、広々としていて天井も高く、スイートタイプの機能的な部屋でエアコン、電子レンジ、コーヒー&紅茶セット(無料)、ミニバー付きで、長期滞在にも向いています。

荷物を置いて、早速、市立公園に行くと、「クーアサロン」というコンサート・サロンがありましたので、今夜のチケットを2枚購入しました(1人、52€)。開演は夜7時半で、それまで、街の散策をして時間をつぶし、ドレス・アップしてコンサートに出掛けました。モーツアルトとヨハン・シュトラウスの名曲、15曲ほどの演奏で、ワルツの曲ではダンサーが踊りながら入って来て、オペラのアリアの時は、声楽家の歌も入り、飽きさせないプログラムで、最後は、有名な「ラデツキー行進曲」で、盛り上がり終演でした。観客のほとんどがツアー客で、駐車場には、観光バスが何台も停まっていた。5月31日(火)は、まず、ケルトナー通りの中心付近にあるインフォメーションで、「ウィーン・カード」(1人:18.5€、市内の交通機関が72時間乗り放題)と楽友協会のコンサート・チケット(1人:79€)をそれぞれ2枚購入しました。その後、カールス・プラッツ駅からU4番線でシェーンブルン宮殿駅まで行きました。そこから宮殿まで、歩いて10分です。ここも37年ぶり、とても懐かしかった。1時間半ほど見学して、市内中心に戻り、明後日から泊まるホテル探しをしました。シュテファン寺院の周りにホテルが多数あるので、そこへ向かい、2件目に訪ねた「ドミツィル」が空いていて、3泊予約しました。(1泊、朝食付き:155€)6月1日(水)は、ドナウ川クルーズをしました。路面電車に乗り、シュヴェーデンプラッツで下車して、すぐ前のドナウ運河沿いにあるウィーン・シティ船着場からDDSG社の船に乗船。ドナウ運河を南下してドナウ本流のライヒスブリュッケまで行きさらに北上後、ドナウ運河に戻ってくるコースです。本流に出る手前に水門があり、ここを通過すると本流に入ります。

ライヒスブリュッケに着くと、ハーフコースの人は、ここで下船をします。私達は、昼食付を選びましたので、ここから昼食タイム、ウィーン風カツレツ定食でした。揚げたてで美味しかったです。3時間半ほどの周遊でした。(1人:28.5€)そして、夜は、いよいよ楽友協会のコンサートです。小ホールでしたが、楽団員はモーツアルトの時代の扮装で演奏し、お馴染みの「ドンジョバンニ」や「フィガロの結婚」のアリアやヨハン・シュトラウスの「美しき青きドナウ」、「ウィーンの森の物語」など名曲揃いで、指揮者がとっても表情豊かでエンターティナーぶりを発揮して楽しかったです。特に最後に必ず演奏される「ラデツキー行進曲」での指揮振りはとても面白かったです!!



楽友協会小ホール

6月2日(木)は、高級ペンション「ドミツィル」に移り、10時半頃からベルヴェデーレ宮殿へ出掛けました。宮殿には、上宮と下宮があり、上宮は美術館になっており、クリムトのコレクションは世界最大だそうです。上宮から下宮の間は庭園になっていて、ゆっくり散策するのもお奨めです。入場料は、上宮+下宮のコンビチケットでウィーンカード割引を使って一人、11.30€でした。

6月3日(金)は、ヴァッハウ渓谷へ出掛けました。シュテファンプラッツ駅から地下鉄のU1線でウィーン西駅へ行き、「ヴァッハウ・コンビチケット」(ウィーン~メルクとクレムス~ウィーンの鉄道+メルク~クレムスの遊覧船+メルク修道院の入場料)(2人分:96€)を買

い、そこからメルクまで快速列車で約1時間15分乗り、メルクの街を散策したり、メルク修道院の見学、なかでも修道院付属の教会内部や修道院の図書館の内部は必見の価値があります。13:50発の船の時間まで時間があるので、レストランで昼食を頂いたり、街の土産物屋さんを覗いたりしました。そして船に乗り、ドナウ川の兩岸の景色を楽しみながら、デュルンシュタインまで行き、そこで下船し(15:15)、街を散策しました。クレムス行きのバスの時間まで、たまたま出会った日本人ガイドの方から教わった地元のワインやビールが安くて美味しいレストランで寛ぎました。17:15発のバスでクレムスに行き、そこから、列車に乗りスピッツテラウ駅で地下鉄U4線に乗り換えてシュヴェーデンプラッツ駅でU1線に乗り換えシュテファンプラッツ駅で下車。ホテルまで歩いて3分。

6月4日(土)は、午前中は、ホーフブルグ宮へ出掛けました。ミヒヤエル広場から入り、皇帝の部屋や銀器コレクションやシシィ博物館を見て回りました。そして夜は、ウィーン交響楽団の本拠地である「コンツェルトハウス」でのコンサートに出掛けました。6日間の滞在中、3回、コンサートに行けて堪能しました。

6月5日(日)は、アムステルダムに戻りました。ウィーンから2時間のフライトでした。懐かしく感じます。日中は、ムント広場近くの運河沿いの花市場で過ごしました。夜はいよいよ「コンサートヘボウ」のコンサートです。7時半開演なので、7時10分に行ったところ、静かで誰もいないし、レストランもお休みで、入り口も開かないのです。おかしいなあ?ひょっとしたら、6月でなくて7月かも?と思い、ちょうど停まっていたタクシーの運転手さんにチケットを見せたところ、「このチケットは、7月5日ですよ。」と言われ、納得しました。6日の分も7月のだから、6日の午後1時からチケット売り場が開くので、その時に交渉することにしました。

6月6日(月)午後1時にチケット売り場の窓口で「昨日、コンサートに来ただけけれど、

休みだった。」と言って、例のチケットを見せたところ、「これは、7月5日と7月6日ですよ。」と言われ、「5月にここの売り場で、来月の5日と6日の分をと言って買いました。明日、日本に戻るのでキャンセルしたいのですが・・・」と言ってお願いしたところ、「基本的にキャンセルは出来ません。」と言われたのですが、チケットが英語表示でなくてオランダ語で「Juri05」と印字されていたので、オランダ語が解らなかった私達を気の毒に思い、奥へ行って上司に相談してくれて、OKとなり、既にカード決済されていたので、後日、カード会社を通じて返金してくれることになりました。

6月7日(火)の14:55発のKLM861便に乗り、6月8日(水)の8:15に成田に無事到着しました。今回、30日間で大勢の日本人観光客にお会い致しましたが、個人旅行でしかも50代の女性2人組や女性だけの6人組など、女性の逞しさを感じました。拙い旅行記でお恥ずかしい次第ですが、ご参考になれば幸いです。



デュルンシュタイン

チェンマイ観光事情

関西支部 No.558 伊澤 豊

会員さん達から「チェンマイは国際観光都市である筈なのに、MLによる伊澤からの情報はゴルフのことばかり」との響感を買ったので、観光面にスポットを当ててみることにしました。尚こういったエリアに関しては素人の自分には力不足なのでプロ(現地旅行社)のアドバイスを得ながら纏めてみました。

ところが記事がやや膨大になりましたのでMLでの発信を止め、この「会報・夏秋号」に掲載させて頂くことにしました。

.....

①(市内を中心に比較的簡単に行けるところ)

[有名寺院巡り] (一巡するのに車で1~2時間)

タイは日本と同じ仏教国・・・とはいえ仏像のお姿や建物の佇まいはこの国独特で、チェンマイ市の菩提寺と言われ市民から篤い信仰を集めている山上の寺院「ワットドイステープ」をはじめ、市内にある名刹「ワット プラシン」・「ワット チェディルアン」・「ワット スアンドーク」など。

[タイ伝統舞踊デイナーショー] (車で20分)

北タイの宮廷料理を食しながら、うら若い女性が演じる美しい「タイ伝統舞踊」。劇場が市内に数か所あり。

[市営動物園] (車で10分)

市内西方山麓にあり、広大な敷地に獣舎が点在し園内を乗り降り自由の乗合カートで巡る。人気はやはり「パンダ」・「コアラ」。

[ナイトサファリ] (車で30分)

市から南方10kmの近郊にあり、昼間でも入れるがやはり夕方6時頃から出かけて入園するのがよい。それこそ多種多様な動物が見られるので、一見の価値あり。

[花博公園] (車で30分)

上記のナイトサファリに隣接してある。数年前に、国王生誕80周年を祝って盛大に華やかに開かれた「花博覧会の跡地公園」。緑や花々が美しい。

[アトラクション] (市内から車で45分)

チェンマイ北部近郊の山間部で「メーサ地区」と呼ばれる場所には面白い呼び物施設が数多くある。

象の水浴場面を見たり、象に乗ったり、象の演じるショーを楽しめる「メーサ エレファントキャンプ」、虎ばかり集めた「タイガーキングダム」・お猿さんのショーが見れる「モンキーセンター」・タイに住む大蛇から毒蛇に至る多種の蛇を集めた「スネークファーム」・その他度胸だめしの出来る「バンジージャンプ」等あり。

[メーテン エレファント キャンプ] (市内から車で1時間)

これは市内から50kmほど離れた山中にあり、象関係は「メーサ」と同じだが象乗りやエレファントショー以外に・牛車乗り・筏下り・蘭園見物・山岳民族見学等に昼食が付く日帰りパッキングツアーあり。

[温泉] (車で45分)

チェンマイ西部近郊の「サンカンベン地区」の山中に(タイには火山がないのに)本物の温泉が出る温泉施設がある。公園を兼ねている公営の入湯施設「サンカンベン温泉」・美しい庭園のある民営の温泉リゾート「ルーン アルーン」がある。

[クラフト(手工芸品)通り] (巡回するのに車で2~3時間は必要)

チェンマイ市街を貫流するピン川最大の「ナワラット橋」を東へ渡りまっすぐ東上スーパーハイウェイを越すと「旧サンカンベン街道」に入る。ここを起点にさらに東へ14kmの間を通称「クラフト通り」と言って、沿道に金銀細工・セラドン焼き・日傘工房・タイシルク・ジュエリーショップ等が散在する。ところがこういった工房や店舗は裏通りにもあるため、チェンマイへのイチゲンさんが車で走るだけでは何処に何があるのかさっぱりわからない。そんな時には、プロの旅行社のアドバイスを得るなどしなければラチがあかない。ご婦人方には特に人気の地域。

[木工村] (車で片道30分)

市内から南方郊外へ10kmほど行った所に「バーンタワイ」という木工村がある。此处では、小は玩具から大は家具に至るまでさまざまな木工製品が数多く作られている。村の中心部にこういった製品を陳列販売する大きなマーケットがあり、連日大勢の観光客・買い物客で賑わっている。チェンマイに来たら、一度は是非足を運んでみたい所。数名で赤い乗合ミニバス「ソントウ」の運ちゃんに「バーンタワイ」と言って指で往復の仕草をし、1台500B(1500円)位で値段交渉すればたぶんOK。このマーケット、専用の大駐車場がないので買い物時間(2時間ほど)を考慮し、集合時間・場所をしかと確認する必要あり。此处ではぐれたら探しようがない。.....

② (チェンマイから日帰りは可能だが、せめて1泊2日でゆっくり訪れたい所)

[チェンライ] (約2時間半)

チェンマイから北へ約180kmでタイ最北の古都。街の規模はチェンマイの四分の一だが、それなりに由緒ある街。

この街を抜けさらに60km北上すると、在タイ延長ビザ取得で有名なミャンマーとの国境の街「メーサイ」がある。対岸のミャンマーの街「タチレク」へ往復するのよし。このメーサイから東へ40km走ると有名なメコン川に出、その広大な川沿いに「チェンセーン」という街があり、ここから「ゴールドエン トライアングル」巡りの観光舟が出ているので、是非トライすべし。

[パーイ] (山道を走るの約2時間)

チェンマイから北東「メホンソン」への県道#1095で90kmの所で、急峻なイロハ坂の山道を越えたところで突如目の前が開けかなり大きな盆地に出る。此处に近年外国人のバックパッカーの間で人気のかわいい「パーイ」の街があり、山里の雰囲気ながら横文字の看板がやたらめにつく。メホンソンへの途中でせめて1泊には本格的な美しい温泉リゾートがあり、投宿なしでも露天風呂を楽しめる。

[メホンソン] (パーイから約2時間)

上記の「パーイ」から同じ県道をさらに40km

ほど走った所で県道をそれ、10km入った山中に大きくて見事な「ロート鍾乳洞」があるので是非立ち寄ってみたいもの。鍾乳洞内から川が流れ出ており、この洞窟内の川を竹の筏(5人乗り)の舳先にガイドが座り、カンテラで洞内を照らしながら奥へ奥へと進み、その終点で筏を下り、洞内の曲がりくねったアップダウンの坂道を説明を聞きながら進む。

再び県道に戻り、此处から約70km車で走り最終目的地の「メホンソン」の街に到着。此处は隣国ミャンマーに近いのでも知られており、丘の上の寺院を手始めに散在する寺院巡りをしたり、近郊に住む「首なが族」の村を訪ねるなど見所は多い。
[ターク] (約3時間半)

チェンマイからスーパーハイウェイ(国道#11)を100kmひた走り、ランパーンでタイ1番の幹線国道1号線に合流。このバンコクへ向けての大国道を一気に180km南下、中都市「ターク」へ。ここには国王の名にちなんだ広大な「プミポンダム湖」があり、この湖上をタグボートに曳かれ約2時間、食事しながらのんびり遊覧するレストラン船あり。せっかくの機会なので発電所のある大ダムの上に立ってみよう。周辺の景色はどこか東京の奥多摩に似ているとか。

[スコータイ] (約4時間)

チェンマイから約320km南下、ご存知ユネスコの世界遺産に登録されている「スコータイ歴史公園」がある。この街から北へ30数kmの所に焼き物で有名な「スワンカロク」があり、さらに30km北に進むと、これまた有名な「シー サッチャナライ」という歴史公園がある。日本では江戸時代に「宋胡録(スワンカロク)焼」として茶人に珍重されたそう。

.....
※タイでは、中級レベル以上のホテルの宿泊費はネットなどでホテルに直接申し込むよりも、現地旅行社を通して申し込むと、かなりデイスカウントされます。

現地旅行社等について知りたい場合、伊澤まで直接メール下さればご紹介して差し上げましょう。(伊澤: izatoyo@hotmail.com)

~~~~~

# 麗しきハワイ ロングステイ

関東甲信越支部 No.1453 稲本 卓三

逸る気持ちを抑えてホノルル空港に到着したのは2011年5月26日でした。

期間を巡って妻との調整がやっと折り合い不測の事態にも対応できるよう少し多めの荷物を持ち参りレンタカーを満杯にしながら無事コンドミに辿り着きました。初めてのL/Sで期待と不安が交錯している中初日から帰国日まで親身にお世話を頂いたのは南の会ハワイ支部幹部の皆様方と奥様方でした。

この紙面をお借りして改めてお礼を申し上げます。

以下 約40日間の顛末を報告させていただきます。

## (1) 事件発生

今回の大失敗は到着2日目のゴルフバッグの盗難事件でした。レンタカーを運転してウォールマートで買い出しをした後 ドンキホーテで食料を買って車のトランクを開けた時何か異常を感じました。家内の分も含めてゴルフバックが丸ごと盗難に遭いました。ドンキの担当者呼びホノルル警察の担当官とのポリスレポートを作成し足取りも重くコンドに戻った時には到着時の高揚感も吹っ飛び脱力感と無力感が漂っていました。荷解きをせずにこのまま帰国しようかとの思いが一瞬過ぎりましたが命を取られたわけでもなく取りあえず必要最低限のもので生活してみようと決意しました。翌日村林ご夫妻に事情を説明したところ痛く驚かれ親身に今後の対応に関して奔走を頂きました。

地獄に仏とはこのことで翌日以降体制を立て直しL/Sを無事終了することが出来たのもひとえに南の会の皆様のお蔭です。

しかしプロの仕業とはいえ海外にいることを忘れて買い物に熱中していた為注意力並びに警戒心が薄らいでいたことを自戒しています。

買い物時には“貴重品を車に乗せるな。品物の入ったトランクを開けるな。”を今後徹底したいと考えます。

## (2) 何故 ハワイなのでしょう？

\*気候が温暖で年中エアコン無しの快適な生活が

過ごせること

従って衣類の種類が少なくて済み体に優しいこと。特に6月はローシーズンで宿泊代が比較的安く雨が少なくお勧めです。

[今年は少し例外的に 雨や雷が発生していた] 本来なら一番過ごしやすい時期。

\* シニアに優しい環境 [基本的には65歳以上] 元来アメリカ人は弱者に対して手を差し伸べることを美德として小さい時から困っている人には当たり前の様に優しく接してくれますが制度面でもシニア割引が徹底されており外国人の我々もその恩恵を享受できます。

例を挙げればバスの定期代やゴルフ場の割引等 実際近年アメリカ本土より引退後の生活場所としてハワイに移住される方が着実に増えているようです。

\* 日本語が比較的通じること

買い物客や観光客の多くが日本人でありワイキキ周辺ではホテル・店舗・レストラン・スーパーの多くでは日本語がかなり通じます。

\* 治安が比較的良いこと

“アメリカでありながらアメリカでない。それがハワイたる由縁である。”といわれる位本土よりも治安が良くホノルル警察も“機敏”に対応しており年々ワイキキ周辺は環境浄化がかなり進んでいるようです。

しかし 一部“例外”もありご用心、ご用心。

\* 日本食や日本食材が手に入りやすい事

日本食は海外では高く特にワイキキのレストランでは日本の2倍—3倍の店も多いが一方新規開店やランチなどで比較的廉価な店も出てきています。一例として丸亀製麺(ウドン屋さん)やお弁当屋(心亭)は\$10/人 弱義経(朝食・ランチは安い) 梅林(トンカツ屋) 松玄(そばや)などは\$20/人前後で楽しめます。

日本食も販売しているスーパーの一覧別紙参照下さい。

\*ゴルフ場が多く比較的low価格で利用出来る事  
オアフ島では約40 [軍関係を含む] のゴルフ場があり一部を除けば比較的low価格で利用出来ます。特にパブリックコースは安く利用出来ますが予約を取るのが一苦勞です。又特筆すべきは“カマアイナ” [地元民] 割引制度です。

ハワイ州の運転免許証を取得し運転免許証を見せれば大幅割引でゴルフを楽しめます。

本国では半年以上のL/S でなければ受験資格がないようですがハワイは例外でS/S でも条件さえ満たせば運転免許が取得できます。

但し近年短期滞在のカマアイナが急増してきており何等かの規制の動きが噂されています。

\*医療設備が充実しており日本語でのドクターオンコールも利用可能

幸い今回はお世話になりませんでしたでしたが医療水準は高いが費用も高く高額医療費の自己負担軽減の為には海外旅行保険の加入は不可欠のようです。

\*マリンスポーツ特にシュノーケリングのメッカ  
熱帯魚を真近で見楽しむ事もハワイでの楽しみの一つです。

近年観光客の急増の為水が濁ってきたり魚が減ってきたりしていますがエルビスプレスリーのブルーハワイのロケ場所としても知られている“ハナウマ湾”でのシュノーケリングは我が家の楽しみの一つです。

### (3) 新規訪問場所と利用した事柄

過去のS/S (10回強) では殆どゴルフとハナウマ湾通いと外食に明け暮れており大変勿体ないことをしました。

\*ホノルル水族館

時折演奏会も行われるようですが熱帯魚や珊瑚の生育状況もよく理解できシュノーケリングで会えない魚にも出会えます。教育効果も満点。

日本語での音声ガイドがあり散歩コースにお勧め。

\*ホノルル美術館

歌川豊国の浮世絵版画を数多く所蔵。後述のシャングリラツアーに申し込めばセットで美術館も回れる。

\*シャングリラツアー

煙草王の一人娘で大富豪の“ドリス デュー

ク”の別荘とホノルル美術館を巡るツアー。中近東の至高の芸術と大金持ちの生活様式が垣間見られ必見です。

但し事前予約が必要で日本語での説明はありません。

\*天使の海・天国の海 ツアー

日本で放映された化粧品メーカーの宣伝 (海辺の真ん中に出現したサンドバーにデッキチェアが置いてあるもの) をきっかけにここ2-3年観光客が急増している。天国の海の方は6月半ば段階で既に1か月待ちであった。

両社ともに同じ砂浜の違う場所を確保しており内容は実質的に変わりはない。

ホテルでピックアップ後カネオヘ湾より船で出発し海亀スポットで緑海亀と遭遇しサンドバーへ。シュノーケリングで周りの魚を見て楽しむ概ね半日ツアー。[簡単なランチ込]  
中々楽しいツアーでありました。

\*イオラニ パレス

日本語ガイド (ボランティア) 付きでハワイ王朝の変遷が理解できるツアー。

ワイキキの主だった通りの名前が王家の人々の名前となっていることは興味深い。

\*中華街

治安の問題より一度も訪れていなかったが飲茶の名店や野菜、果物並びに中華食材及び魚 [鮮魚や鮪の刺身] の新鮮なものが比較的廉価で手に入る場所であることが判明しました。平日の午前中や昼間に訪れることは安全上問題なさそうです。

\*アリゾナ・ミズリー メモリアル

アリゾナメモリアルは無料の為見物客が多く概ね昼前後にて満員終了となり残念ながら見物は叶わなかった。一方“ミズリー見学”は日本語の自動音声ガイドを利用した為非常によく理解できた。艦長の権限の大きさと太平洋戦争の終結調印の場所としても貴重な戦争の生き証人であることを認識できた。

\*アロハヘブン コンサート (於: コンベンションホール) 約2千名参加

ハワイ在住の音楽家たちによる日本大震災復興支援チャリティーコンサート



10組の音楽家たちの生演奏が身近で楽しめた。特に印象に残った演奏家達  
 ジェイク島袋・コニシキ・オータサン・パリ・ジェフピータソン・マカナ・ナレオ  
 約4時間強のライブで\$80/人と若干高めだったが十分値打ちがあり例年同時期〔6月下旬〕に開催される模様で次回も是非参加したい。

**\*ザ バス**

今回初めて利用しましたが 鉄道・モノレール・地下鉄などの無いオアフ島の唯一の公共移動手段であり時間を気にしなければ利便性はとても高くL/Sの必須の移動手段。

上述の訪問先は殆どバスにて回りました。

問題点はルートとバスの番号並びに下車駅。

シニア割引は65歳以上で適用される。燃料高騰の為一般運賃は上がってきており現状では\$2.5/人で距離制限は無く乗り換えが一度可能。

**\* JCB カード並びに JCB プラザ**

DFS/アラモアナショッピングセンターとワイキキ市内を回っている

“ピンクラインバス”はJCBカードを見せるだけで追加大人1名子供2名まで無料。

JCB プラザでは日本語の新聞や各種情報が入手でき数多く利用させて頂きました。

**(4) 南の会ハワイ支部活動状況**

約10年ほど前より支部活動開始され貴重な情報を蓄積されており会員の皆さんとの連携の緻密さを体感致しました。

特に高田支部長代行ご夫妻や村林副支部長ご夫妻はハワイのコンドミ生活が長く生き字引として殆どどの問題にも精通されておられます。

又 関様は渉外担当窓口として会員のゴルフ関連の手配を一手に差配されておられ誠に頭の下がる思いです。

**\*サロン会**

概ね毎日情報交換をされていますが月に最低一度訪問者の多い時期に開催されています。

6月13日 レストラン サンライズ

参加者 15名

6月20日 関様のお部屋

参加者 11名

6月29日 レストラン サンライズ

参加者 12名

**\*オープンゴルフ 6月13日〔月〕 ミリラニ G.C. 11名参加**

以前は他の会と合同で開催されていた時期もあった様ですが 最近L/S参加者も増え南の会の独自のコンペが開催されています。

今年はダブルペリア方式で優勝 高田氏2位村林氏3位 関氏と幹部の皆様の実力がそのまま反映された大会でした。



**(5) タイムシェア 説明会 [基本的には利用は1週間単位]**

主なタイムシェアの説明会の状況を下記致します。L/Sの変形や組み合わせとして利用することも一考かと思えます。

**\*ヒルトン 日本人のシェアが約70-80%**

DFSの1F トイレの手前やアラモアナショッピングセンター2Fに勧誘場所がある。オアフ島の場合ワイキキに比較的近く路線バスにても移動可能距離。室内の調度品は豪華だが日本人が多い為利用時期が重なった場合の事前調整が中々困難な模様。

**\*ウインダム 一番の老舗と自称しており宣伝はせず口コミのみ。**

ビーチサイドワークを歩けば 必ず声をかけられる。

現在販売中の場所はワイキキのど真ん中の立地だが隣のホテルやコンドとの距離が近すぎる事難点。2年後に新規場所の販売を予定している。利用の利便性の観点よりヒルトンからの乗り換え組が多いと説明している。

**\*マリオット コオリナ 日本人のシェア 20%程度**



ワイキキ マリOTTホテル内に勧誘の場所がある。

立地は最高で部屋も広いがロックオフ時の狭い1DKでの生活が問題。

又 コオリナ地区よりの移動に制約ありレンタカーの利用が必須。

ディズニーの開業後の動向及び2016年開業予定のモノレールの進展状況に注目したい。

**\*ディズニー**

アラモアナショッピングセンター 2Fに勧誘場所がある。

2011年秋より開業開始予定だが他のタイムシェアとは異なり参加謝礼はディズニー人形のみ。今回は時間的制約の為訪問出来ず。

**(6) バニアン会**

約10年ほど前よりアストン アット ザ ワイキキ バニアンにL/Sされる

有志の方が中心で自然発生的に結成された組織。

厳密なる規約は無いが6月を集合時期として日本各地より多数参加されており70歳前後のシニアの方々が大変お元気にL/Sを満喫されている。

ハワイでは南の会とはほぼ同時期に結成されているが参加者は多く[40-50名]南の会と相互補完的位置付け。

南の会のメンバーも状況に応じて各種行事に参加をさせて頂いており村林氏関氏が幹事役として運営に協力をされている。

(先にバニアン会に所属されていた村林氏、関氏が高田氏と出会った後に南の会の会員にもなられた模様)

<定例行事>

\*朝のラジオ体操 日曜日を除く毎日7時半より

NHK 第1、第2体操 終了のち 情報交換会

\*ゴルフ同好会 毎週 最低 2回

\*オープンコンペ 本年度第8回目を開催

\*ハワイアン フラダンス教室 発表会も開催

\*ウクレレ同好会 発表会も開催

\*絵画同好会 展覧会も開催

\*マラソン同好会 ホノルルマラソンにも参加者多数の模様。

\*ポットラック ・BBQ パーティ 適宜開催



**(7) 総括**

“終わり良ければ全て良し”とは言いますが今回初めに問題が発生した為お蔭様でその後の生活ではどんな事件にも問題なく対応できました。

目標にしたい事項を列挙します。

**\*海外L/S 上限年齢**

70歳を限度と考えていましたが元気に活躍されている諸先輩方とお会いして80歳迄引き上げたいと考えました。

**\*ハワイの物価高対応**

他の地域に比して生活費特に住居費と食費が割高であることは否めませんがコンドミの基準の選択と食費関連他で知恵を絞れば何とか対応が出来そうとの思いを強くしました。特に昨今の円高を利用し1か月分だけ少し費用が掛かっても又ハワイに戻ってリフレッシュしたいという皆さんが多い理由が十分に納得が出来ました。

**\*健康管理**

ジョギングやマラソン又ジムや水泳を積極的に取り入れて自己の健康管理と食事管理と共に

われている方が多い事を痛感しました。

**\*趣味の多様化**

ゴルフを生涯スポーツとして考えていますが今回結局18ホール換算で13回プレイを行いました。目的意識をしっかり持たれた達人の方が多く大変勉強になりました。

次回以降ゴルフ以外の新分野にも挑戦したいと考えます。

**\*次回の楽しみ**

今回お会いしたハワイ支部の幹部の皆様のみならず、関様ご夫妻、横山様ご夫妻、吉野様ご夫妻、小鷹様ご夫妻、塩川様とスキルアップして再会できることを楽しみにしております。

p.s. 7月5日無事日本に帰国し来年の訪問を楽しみに日程調整と資金調整を開始致しました。

## **ハワイ オアフ島スーパーマーケット状況 (H23.07.10)**

関東甲信越支部 No.1453 稲本 卓三

### **1) Marukai Market Place**

住所：1020 Auahi St. Ward Farmers Market Honolulu, Oahu

TEL：808-593-9888

営業時間：月～土 7:00～20:00 日 7:00～18:00 定休日：なし

\*一日会員券はパスポート提示にて作成

### **2) Safeway**

住所：900 Kapahulu Ave., Honolulu

電話：808-733-2600

営業：24時間 休み：なし

お得ネタ：レジやカスタマーサービス・カウンターで、無料の会員登録を済ませれば日替わりのお買い物商品をメンバー価格で購入できる。

### **3) Food Pantry ・Kuhio Store**

住所：2370 Kuhio Ave., Honolulu, HI 96815

営業：休みなし 6am - 1am

•ワイキキにあるスーパーなのでコンビニよりは安い値段はそれなり。

•食料品から日用雑貨まで一通り揃う。急ぎ、買い忘れのときに利用

### **4) Don Quijote**

住所：801 Kaheka St., Honolulu

電話：808-973-4866

営業：24時間 休み：なし

お得ネタ：毎週火曜日は60歳以上のシニア・シティズンデーとして、商品の割引を受けられる。

### **5) Foodland**

住所：1450 Ala Moana Blvd., Honolulu

電話：808-949-5044

営業：6:00～22:00、土曜 7:00～、日曜 7:00～20:00 休み：なし

お得ネタ：レジやカスタマーサービス・カウンターで、無料の会員登録を済ませれば日替わりのお買い物商品をメンバー価格で購入できる。

### **6) Nijiya ALA MOANA STORE**

住所：451 Piikoi St. Honolulu, HI 96814

電話：(808) 589-1121 Mon~Sun 10:00am-9:00pm

小分けの食材が入手可能、弁当も日に3回補充

## 支 部 便 り

### 北海道支部便り

支部長 No.609 三島 克幸

6月22日北海道支部長の佐藤治己様(70歳)が病気の為、永眠されました。

これまで、北海道支部の発展に大きく貢献されました、特に北海道の会員の多くをチェンマイにひきつけたのはまさに佐藤様の功績だと思います。心より感謝申し上げますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

#### 1. 平成23年第1回北海道支部総会

- (1) 日 時 H23、6、4(土)
- (2) 場 所 かでる2・7
- (3) 参加者 37名
- (4) (関東甲信越支部から8名参加)
- (5) 議 事

- ア 支部長会の報告
- イ 会計報告
- ウ 会計監査報告
- エ 新規会員紹介(新会員2名)
- オ 役員改選(支部長・副支部長・会計選出について)
- カ 長期滞在報告

#### ・No.1306 佐藤博美様のニュージーランド旅行の報告

最初に、佐藤様の定年後のライフスタイル話して頂き、数年前に行ってきたニュージーランドの思い出を話して頂きました。

#### ・No.961 大平盛雄様の今年3月のチェンマイについて報告

毎年冬期間チェンマイに滞在していますが、皆さんが3月は暑いと言っているのに、今年は3月末迄滞在しましたが、異常気温の影響か気温が低く寒さと雨の日が続いた為、暑さの体験にならなかったこと、チェンマイ生活の物価事情等お話しして戴きました。

#### (6) 懇親会

PM5:00～旬菜食健 ひな野 札幌駅前

東急店で実施

34名の方が参加し活発に意見交換がなされ、久々に参加されましたNo.358賀陽様のペナン情報も加わり大いに盛り上がりました。

#### 2. ふれあいゴルフコンペ H23、5、22(日)

シャムロックC.C(千歳市)参加者9名

肌寒い日でしたが、昨年秋以来でしたので楽しいゴルフを満喫しました。

#### 3. 女性ミニサロン会 H23、6、13(土)

小樽市銭函 参加者7名

小樽市銭函駅に集合、昼食は幻想的な日本海の海を眺めながら「レストラン癒月」で食事・お喋りしたのち、会員宅のガーデンを拝見。お庭に咲く色々なお花を見学させて頂き、お部屋では、英会話の習得経緯・南の会入会動機等、楽しい一日を過ごしました。

#### 4. 第1回パソコン教室

- (1) 日 時 H23、7、4(月)
- (2) 場 所 札幌エルプラザ
- (3) 参加者 9名

支部初めてのパソコン教室をNo.625工藤様の講師により開催しました。

フリーソフトをダウンロードしての活用方法、クラウドサービスの利用方法等教えて頂き、3時間も短く感じ、次回開催を約束し閉会しました。

### 関東甲信越支部便り

支部長 No.1125 佐々木 一信

今年度はお世話役の改選期ではない為、前年度の世話役が引き続き担当させていただきます。新たに若干名の増員を行い、みんなで少しずつ負担しあい 楽しく、仲良く運営をしていきます。

#### お世話役の構成

- ・支部長 #1125 佐々木一信
- ・副支部長 #750 小松勝正
- #1118 肥後憲尚



- ・会計 # 434 大野悦子
- # 389 加藤久子

・企画運営

- # 1256 大塚眞一
- # 1086 山科滋雄      # 1225 高橋眞治
- # 1017 関口幹二      # 1108 山田美弥子
- # 1161 永島和雄
- # 1361 木村秀男      # 755 岩井文哉
- # 434 大野悦子      # 51 青木方子
- # 1071 光城保之      # 1230 吉野正博
- # 1118 肥後憲尚      # 1457 小野耕一
- # 1388 寺田和義

◎今年度も6月を除き毎月サロン会を行います。

LSベテラン会員と新入会員とのサロン会に対するニーズが違う為、サロン会の企画をどうするかは課題ですが当面、会の基本であるLS情報交換と仲間作りを主眼に運営をしていきます。年に数回外部講師を招くことも考えています。



サロン会（みんな熱心に聞き入っています）



懇親会（会話がはずみます）

## 東海支部便り

支部長 No.840 岩田 彬

4月に支部総会が開催され、支部長はじめ役員の一部が変更となりました。

役員の皆様の努力と会員のご協力を頂き、また従来からのマイペンライ思考も継承しながら、更に楽しいクラブライフづくりを目指してゆきます。今年度に入って、現在までのところ、定例会を4回（延参加者75名）、サロン会3回（延参加者34名）、平日サロン会4回（延参加者28名）、ゴルフ会1回（参加者16名）開催しました。いずれも、他支部の方も機会がありましたら、是非ご参加をお待ちしています。

- ①定例会は、東海支部が毎月、第2日曜日の午後1時～4時30分まで開催する主要な情報交換会です。LSに関する情報を会員が共有するための定期的な会合です。また、東海地方に在住の外国人に講師をお願いして、その国について学んだりしています。6月は三重県津市に在住のタイ女性にタイ事情をお聞きし、9月はインドネシア女性にインドネシア事情をお聞きする予定になっています。
- ②サロン会は、定例会終了後、場所を改めレストランや食堂で懇親を図る気軽な会です。
- ③平日サロン会は、毎月第3月曜日午前11時30分～午後2時まで、名古屋市内の高層ビルの25Fでランチをはさんで気軽に雑談する会で、『いこみゃー会』（名古屋弁で「行きましょう」という意味）と称しています。
- ④ゴルフ会は、南の会マスターズと銘打って、春と秋にゴルフを楽しむゴルフ愛好（同好）会です。女性ゴルファー大歓迎です。



## 関西支部便り

支部長 No.891 徳永 卓雄

関西支部では、会員相互の親睦を図るために、定例のサロン会（情報交換会）に加えて各種親睦行事も積極的に推進しています。本年4月以降の主な活動を紹介します。

### ○ 4月例会（情報交換会）の開催

～ダバオ下見ツアーの報告～

4月16日大阪市立生涯学習センターで4月例会を開催しました。ダバオ下見ツアーの報告を参加者8名がそれぞれテーマ別に分担して報告しました。他に「チェンマイ事情」「ハワイ事情」の報告があり、17時30分からいつもの居酒屋「呑」で懇親会を開き親睦を深めました。参加者45名。



例会の状況

### ○ ゴルフコンペの開催

5月23日 兵庫県のライオンズCCで支部同好会のコンペを開催しました。生憎のお天気で、午前中は小雨でしたが午後からは雨脚も強くなりましたが皆さん無事ホールアウトしました。入浴後クラブハウスレストランでソフトドリンクを飲みながら、ゴルフ談議ではなく、やはりロングステイの話題で盛り上がりました。参加者7名。

### ○ 沖縄ダイビングツアー

6月6日から11日まで5泊6日で沖縄・慶良間諸島へダイビングツアーに出かけました。参



加者6名。今年の沖縄は梅雨明けも早く連日30度の沖縄の美しい海で、みな元気に毎日潜ってきました。シーズン前なので、どこもすいており、またホテルも立地がよく、アフター5連日の居酒屋さん探しにもことかきませんでした。ダイビングもさることながら、その後の美味しいご飯と100円のオリオンビールで盛り上がりました。また潜るだけでなく、初沖縄の方々2名は沖縄観光も楽しまれ、潜りと観光とどちらも楽しめて120%満足！！と嬉しいお声もいただきました。また来年も同時期に実施しますので、沢山の参加をお待ちしています。



前列中央 世話人の丸山さん

### ○ パソコン教室の開催

6月16日大阪市立生涯学習センターのメディア教室で第5回のパソコン教室を開催しました。今回は、ネット上のソフト（ワード、エクセル）の使い方や「エバーノート」の活用方法について学習しました。講師は大川さん、十河さん。

参加者 17 名。

終了後はいつもの懇親会へ。



パソコン教室の様子

### 九州支部便り

支部長 No.581 朝永 清寿

#### ○志布志サロン会

4月3日に予定していた、定例の支部情報交換会(熊本会場)は、東日本大震災後の自粛ムード、や会員からの開催見送りの提案もあって中止しました。

しかし今年1月以降6名の方が当支部に新規に入会され、そのうちの3名が鹿児島県からと言うこともありその方々の歓迎と、会員相互の親睦を図るため5月22日～23日、鹿児島県志布志市の民宿「涼風荘」でサロン会を開催しました。

参加者は地元鹿児島から6名、福岡から2名、熊本から7名の15名。

みんなで食材やお酒等を持ち寄ってのバーベキューを楽しみながら、全員の自己紹介と近況報告で盛り上がった後、広間に集まったの2次会では穴見ご夫妻によるアメリカ・ニューヨークの初旅行の報告、ベトナムから帰国したばかりの阿部さんによるベトナムの物価とゴルフ事情の話等々でさらに盛り上がりました。

結局お目当ての一つ、志布志温泉は翌日早朝に回され、鹿屋市の薔薇園を鑑賞した後、解散となりました。

その数日後、私たちがお世話になった民宿「涼

風荘」の経営者である増田ご夫妻は、私たちの活動の様子を見て「南国暮らしの会」へ加入されました。



#### ○ゴルフコンペ、イン、チェンマイ



6月のチェンマイは果物が美味しい、しかも雨季で日本より涼しいと云うことで、九州支部から20名近くの方が6月に集中してチェンマイを訪問しました。

毎日のようにゴルフ、到着歓迎会、夕食会と楽しい時間を過ごしている中、「九州支部のゴルフコンペをやりましょう」と云う話が持ち上がり6月23日男女合わせて10名(3組み)によるゴルフコンペを行ないました。

自分が目標としているスコアを最初に申告してもらって、それに挑戦するという形で、目標と実績の差を競い合いました。

参加費は一人40パーツ、1位、2位、3位、BB賞、BBメーカー賞と4個のニアピン賞ありで実力?伯仲のプレーが展開されました。

成績発表と表彰式、並びに反省会はゴルフに参加されなかった方々も含めてチェンマイプラザ付近の中華料理店で行いました。

反省会の参加者は16名でした。

チェンマイ滞在中の皆様には大変お世話になりました、有難うございました。

## 海外在住者から会報について お願いと提案

チェンマイ支部 No.909 鈴木 通弘

海外在住者にとって、国内の例会に出席できることは減多に無く[会報]は有力な情報源であり大変有難く、感謝しております。

本年(2011年)新年号(創刊50号記念)の過去の歩みを、見ますと、継続することがいかに素晴らしく、成長の一大要素となっていることが解ります。内容面も、最近の充実振りは目を見張るものがあり、一皮むけた感じが致します。一方側聞するに①会報作りに携わる担当者の労苦は並大抵のもので無く、多くの日数を重ね、そのほとんどが手弁当、無報酬と聞いております。②又 会報にかかる費用は1,228千円支出全体の44%を占め(10年度会計収支計算書より抜粋、会報等事業費 912千円 33% 送料316千円11%)会員(642名)一人当たり1900円年会費5千円の38%となり、他の支出項目より突出した額となっています。

換言すれば、経費上からは、当会は会報を発行することが、最大の事業と言えます。

さて通信手段は大きく変わりました。

創刊当時のペーパー中心から、インターネット時代に様変わりです。南の会のE-mail所有者も9割を超え、海外在住者に到っては99%以上と思われまます。この劇的な変化に対し、会報も見直される時期だと思い、下記により、[お願いと提案]を提起致します。本部の皆様を始め、会員諸氏の多くのご意見が出ますことを希望します。

### 記

#### 会報についてお願いと提案

1) 会報発行は[インターネット]を中心に移行する。

- ① 1年間の準備期間を置く。
- ② 切り替え後1年間(3回分)については経過措置として、希望者にペーパー版を配布する。
- ③ その後については後日検討。
- ④ インターネット専用者の年会費割引。

<理由>

- ①印刷費、及び 発送費の大幅カットが計れる。
- ②発送に掛かる担当者の事務、作業が大幅に軽減される。
- ③経費節減により、会費の値下げが出来る。

<参考>

友好団体であるチェンマイロングステイライフの会(CLLクラブ)では既に会報(毎月1回、6-8頁)の電子化を進め大幅経費節減の成果を上げています。

#### 2) 会報編集について

- ①発行回数 年3回を継続する。
- ②会員にとって、最も利便性のある記事を優先する。
- ③紙面数を勘案して、②以外の記事をカット又は次号へ持ち越す。
- ④上記①~③より新年号、春号は定ページとし最終号で記事量を調整する。
- ⑤一般投稿の量 増大を図る為、採用分について、謝礼(記念品)を贈呈する。
- ⑥毎号電子メール利用のアンケートを実施する。

以上

## バギオ・パンガシナン支部便り 支部長 No.227 斎木 一

この原稿を書いている、7月1日は、バギオもパンガシナンも雨季入りしています。雨季は、10月一杯続きます。今年は、すでに二つの台風が接近し、台風5号では、上陸しなかったにも関わらず一部地域に洪水や土砂崩れの被害が出ました。

フィリピン気象庁の予報では、今年は台風の当たり年だそうですから、これからも充分注意が必要です。

特に8月下旬から9月末は台風が頻発するので、この期間バギオを訪問される場合は、余裕を持った日程を組まれた方がいいと思います。

例年通り9月末まで、支部としてのバギオ地区での活動は休止します。

7月1日現在、パンガシナン地区は、定住が1人、会員のLSが1名です。

バギオ地区には会員はいません。会友が1名



です。元会員が2名定住はしていますが、会の活動とは別のスタンスです。

バギオ地区は、友好団体として、「北ルソン日本人会」があり、会友の方が副会長なので、何かの時には、頼りになります。

パンガシナン地区は、友好団体はありませんが、ボランティアを目的とした「インターナショナル・フレンドシップ・クラブ」があり、(私)もLS中(の会員も)メンバーなので、滞在中、ボランティア活動にゲストとして参加は可能です。

少人数の支部なので、支部会やゴルフコンペはありません。ご要望によって、会員や会友との会食をセットします。

尚、台風やその他の不測の事態が起きた時の事を考え、ご来訪の節は是非ご一報下さい。

大使館情報などをお伝えします。

尚、バギオ地区の会友も、パンガシナンの私も、最近「よる年波」には勝てず、マイカー運転は近距離に限定しています。移動手段は来訪される会員に手配して頂いています。

バギオもパンガシナンも、運転手つきのレンタカーの手配は容易です。

バギオ地区は、例年11月中旬から12月上旬に掛けて世界最大規模のゴルフ(コンペがあり)一般のプレイが出来なくなります。ご注意ください。

パンガシナンでは12月1日から8日まで、私の住む町で「タウンフェスタ」があります。田舎町の祭りですが、それなりに楽しめます。

### ペナン支部便り

支部長 No.1020 松下 茂

ペナン支部の活動報告です

#### ペナン支部総会

平成23年4月23日(土) 開催

出席：30名

審議・報告事項

- ① 22年度支部活動報告
- ② 22年度会計報告

#### ③ 役員改選

#### ④ 新入支部会員の紹介

##### 1、支部活動報告

- ・サロン会開催 2回
- ・支部役員会の開催 3回
- ・ゴルフ大会の開催 5回
- ・ペナン訪問者 9組
- ・南国ペナンメール 113通

##### 2、会員名簿について

会員数平成22年度 22組 43名でしたが23年度は 29組 56名に増加しました。

##### 3、ペナン支部としての決め事の確認として

ペナン支部運用基準の覚書を作成

##### 4、役員改選について

No.495、石原氏 No.740 渡辺氏が退任

No.37 野一色氏が新任されました

私が支部長に就任して初めての年が終わりました。手探りの状態の1年でした。

ペナン支部会員様には、非常にご迷惑をおかけしたかと思っております。

この1年の感想としまして、ペナン支部の特徴的な事は、訪問者の方4組が、ペナンへ移住され現在ペナン支部メンバーになられたことです。

ペナンは短期の季節的なロングステイ(避寒の為)よりも本格的に生活をする移住の方が多という結果になりました。

海外移住の好立地、好条件がペナンにはそろっているのではないのでしょうか。

生活コストの安さ、治安の良さ、食事の美味しさゴルフの安さ、旅行(エアアジア利用)の手軽さ等住んでいる皆様が認めているようです。

今年も昨年同様に、南の会のメンバーの方がペナンを訪れ、共に楽しく南国生活を満喫できますように少しでもお手伝いできればと思っています。どうぞお気軽にご連絡ください。待っています。

☆海外に住むならペナンが一番かな？





手軽にエアアジアを利用できる

### マニラ支部便り

支部長代行 No.1269 岩崎 宏

蒸し暑い日本がテレビ、新聞等で報道されておりますが会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。ここフィリピンは至って快適な日が続いております。先日も日本に出張した弊社スタッフが日本より「フィリピンの方が全然凌ぎやすい。」と驚いておりました。昨年同様日本の異常気象ということもあるかと思いますが、呉々も暑さに気をつけてお過ごし頂きたいと思っております。

フィリピン観光の現状ですが、3月11日の東日本大震災以降、当初は減少傾向にありましたが6月後半から戻り始めて7.8月は昨年と同じレベルに回復して来ています。特に個人旅行の方ですが長期滞在の問い合わせが増加傾向にあり、退職者ビサの取得希望者も増加傾向にあります。フィリピン政府も昨年度より20万人多い370万人の訪問者を目標に努力をしております。日本人観光客のなかで目立ち始めているのが英語学校での語学留学です。少しずつですがブームの兆しが見えて来ている感じがします。韓国人が英語語学留学等含めて、8万人の滞在人数を記録していて、日本人の8,000人の10倍と上回っているのには驚かせられます。安くて英語を勉強出来るフィリピンはアジアの中で唯一の英語圏のカトリックの国、もっともっと若い人たちにも目を向けてもらいたいと思っております。私の知っている教会の個人レッスンはマンツーマンで

一時間 P300.00 程度で勉強出来るのですよ。

信じられますか。新しいモール、リゾートが続々と開発されているフィリピン、きっと爆発的な人気を得るのも、そう遠くは無いような気が致します。

保養施設タイプの退職者ビレッジもサンタロサという開発が進む地域に間もなくオープンします。広々とした敷地に、家庭菜園、フルーツ園、ゲートボール場、何と銭湯、スパまで備えた85部屋もあるホテル並み施設になっています。近所には景勝地タガイタイ、ゴルフ場、海水浴場、ダイビングスポット、釣り場などがあり、レジャーには事欠きません。いずれMLでご紹介させて頂きたいと思っております。

最後に、最近問い合わせが急増中の退職者ビサ取得にも長官が変わった事ありましたので少し説明させて頂きます。

従来のもの以外に35才以上の方対象の\$20,000.00定期預金で預金凍結で取り消されるまで永住権を所有できるスマイルプラン、身障者対象のヒューマンタッチプランが追加されました。また、指定銀行も政府の銀行デベロップメントバンク オブザ フィリピン一社に絞られました。PRA(退職者庁)口座にて申請者の定期預金を一括して管理することになりました。万一、PRAビサ所持者に重大なことが起こった場合でも相続や、引き出しがスムーズに行われるようになるという事で歓迎出来ることです。

詳細は下記サイトを参照されて下さい。

<http://www.pra.friendshipmanila.com/>

まだ実現は先かもしれませんが、60才以上の外国人に対してのフィリピン人と同じシルバーカード発給(割引特権)等が検討されています。一日も早い実現が期待されます。レストラン、映画館、薬局、病院での割引は大変有り難いものとなるでしょう。

寒い季節がやって来たら是非、日本を脱出して凌ぎやすいフィリピンにボランティア、そしてレジャーを楽しみにいらして下さい。

## 部 会 伝 言 板

### 会 員 部 会

担当理事 No.1230 吉野 正博

始めに会員部会のメンバーを紹介いたします。先ずゴルフとコースが趣味の750小松勝正氏、バックパッカー1人旅とテニス大好き人間の1118肥後憲尚氏、軽登山、F1観戦が趣味の1230吉野正博氏の3名で会務に当たっています。

私たちのモットーは「懇切丁寧、きめ細やかで迅速な対応」です。

それでは会員部会の活動内容を紹介します。

#### 1. 入会資料の送付

本会に入会を希望する方へ入会関係資料を送付する仕事です。

入会希望はホームページ、ファクシミリ、電話、手紙等で入会資料請求が来ますのでその対応に当たっています。

この事務は入会希望者と南の会を結ぶ重要な窓口と思っており、部会のモットーと「お客様は神様です」の精神で、いつも笑顔で接しております。

#### 2. 入会登録

南国暮らしの会の会員として登録する事務です。

入会希望者からの入会申込書が届き、その方の入会金等が確認できましたら入会登録手続きを済ませ、新会員に入会書（会員番号通知）、会員証、南の会必携等を送付する事務です。

#### 3. 各種届出の受領及び管理

休会、再入会、退会、住所変更等に関わる各種届出の受理及び管理業務です。会員の多様な状況に対応する事務です。

#### 4. 会員名簿・索引の制作

年に一回、会員名簿及び索引を作成します。名簿等は会報に同封し会員に送付しております。

#### 5. 宛名シールの作成

会報部会と協同で会報発送用の宛名シールを

作成しています。

また会報を海外支部に発送をするため海外支部長と連絡をとり海外在住会員用の宛名シールを作成しています。

#### 6. 会員の継続手続きと表決権者の確定作業

次年度の継続会員手続きを行うとともに、総会に必要な表決権者を確定する事務をしています。

以上が会員部会の大まかな活動内容です。

### 会 報 部 会

担当理事 No.1125 佐々木 一信

夏秋号の原稿も皆様の協力で順調に進み、感謝申し上げます。今号は#750小松勝正さん、#1067手石方了成さんの担当で企画、編集が行われました。

毎号担当者が担当者が変わりますので、会報の内容やイメージが少しずつ変わります。皆様お気づきでしょうか？委員全員、未経験の素人集団です。どなたか知識、経験のある方や興味のある方がいらっしゃいましたら、是非委員会に参加しませんか！大歓迎いたします。南の会も創立10年を越えLSのベテランからこれからLSデビューを考えている方など会報に対するニーズが幅広くなってきています。今後多くの会員の方に少しでも満足のいける楽しく、ためになる誌面作りを目指したいと思っております。

### 総 務 部 会

担当理事 No.1361 木村 秀男

「会員あつての、南国暮らしの会であります」  
☆会員の皆さんが、自らの責任で「旅行に楽しく行けて良かった」と体感される環境づくり。  
☆会員の皆さんが、今どう有りたいかを感じ取り、活発な議論の下、特定非営利活動「南国暮らしの会」の発展を図る。

6月12日 9名体制でスタート致しました。

(会員番号) 氏名敬称略

(489) 加藤 久子 (1161) 永島 和雄

(1047) 関口 幹二 (1225) 高橋 眞治

(1068) 山科 滋雄 (1256) 大塚 眞一

(1108) 山田美弥子 (1361) 木村 秀男

(1156) 宇田 秀樹

第一回理事会 6月12日開催

- 1、休会会員 現行通り
- 2、支部役員 ルールの確認
- 3、自己責任 啓蒙活動の展開
- 4、会員現況、対策
- 5、経理 会計ルール変更説明
- 6、専用携帯電話購入

090-5505-8984

理事会開催予定日

10/2 12/18 3/11 4/8 5/8

## 経理部会

担当理事 No.755 岩井 文哉

経理業務は、会費の入金管理と支払に大別できます。現在の会員数は継続会員約550名の他、年間約50名の新入会員がありますが、会費の入金があった都度それを記帳し、その情報を会員部に提供して会員状況の更新をサポートしています。一方支払には、理事を含む会員が会運営のために要した交通費や諸費用の立替額精算支払い、外部業者への支払い、各支部への活動費補助の支払いなどがあります。南の会の規模では、これらの経理業務を何人かで分担するとかえって効率が悪くなり、誤りの発生も増加することが考えられることから、これまで担当は実質的に一人でやってきましたが、現預金管理、会計処理、記帳、帳票保存などのすべてを一人がカバーするのは大変です。そこで平成23年度からは経理担当の業務量軽減のため、理事全員が協力できるように手続きや処理方法の変更を実施することにしました。具体的には、精算者による立替経費の会計仕訳記入、精算額の銀行振込み、会計帳簿の一元化などです。これからも担当者の負担軽減のため業務の分担と簡素化

を心掛け、会員のどなたにでもやっていただけるように業務内容を更に改善していきたいと考えていますので、今後とも皆様方のご理解、ご協力をお願いいたします。

## 広報部会

担当理事 No.1068 山科 滋雄

広報部会のメンバーを紹介させていただきます。部会長 山科滋雄(1068)、副部会長 肥後憲尚(1118)のもと2委員会がごぞいます。

広報委員会

山科滋雄(1068) 加藤久子(489)

HP委員会

肥後憲尚(1118) 山田美弥子(1108)

歌田晃一(996) 十河和夫(1391)

広報委員会は対外的広報活動、マスコミ取材窓口をしております。

HP委員会は文字通りホームページの作成・修正・保守を担当しておりますが、最近 ホームページを見て新規入会される方が大多数で、とても重要な役割を担っております。

2011年2月には11万アクセスを達成、100人/1日のペースでアクセスが続いております。

同好会の紹介もあり、更なる充実化に向け鋭意努力中ですので、是非「南の国 ホームページ」をご覧ください。

## ML部会

担当理事 No.1178 長谷川 愈晃

ML部会の主な業務は、大きく分けて二つの業務があります。

まずは、新規参加者の登録、参加者のアドレス変更、退会者の配信先アドレスの削除など、ML(メーリングリスト)の維持管理をする業務があります。

MLは2000年に創設されて以来10年を経過しており、月間100通程度の投稿があり、創設以来の累積投稿メッセージ数は18,000通を超えています。

MLはその名の通り配信するメールアドレスのリストですが、このリストの維持管理が重要

であり、手間のかかる作業になります。

主な作業は、会員からの要請による新規登録、アドレス変更依頼による変更手続、会費未納や退会による登録削除などがありますが、この作業はほぼ毎日発生します。

現在は2名のML委員が交代でこの作業を行っています。

ところが10年以上の管理業務の積み重ねにより、登録したアドレスと実際に配信するアドレスに差異が生じてきたため、今回配信アドレスの整理を行いました。

この作業は4月下旬にスタートをし、全てが終了するまで3か月近くかかる大変な作業になりました。

その経緯は次の通りです。

- 1、ML部会の管理簿ファイル、会員部会の会員名簿、ヤフーグループス・システムから得られる配信一覧を入手。
- 2、上記3ファイルの突合せを実施し、管理簿と実際の配信アドレスとの差異を把握。
- 3、配信アドレスの中で、会員資格が確認出来ない不明のアドレスを削除。
- 4、23年度以前の退会者、休会者の登録を削除。
- 5、一人で3アドレスの配信を受けている2名に問い合わせのメールを出す。2名とも3つのうち1アドレスは存在せず、これを削除。
- 6、23年度会費未納者の確定を待って、これを削除。(5月15日まで会費の未納を猶予しているため)
- 7、全てのアドレスが存在するかどうかをチェックするために、登録者全員に確認メールを送信。プロバイダーからの不達エラー通知により実在しないアドレスを把握。  
最終的にはメールで連絡が取れない8名の方には確認のハガキを郵送。  
このうち4名からは応答があり新アドレスを登録、残りの4名のアドレスは削除。

これら一連の作業のうち、2、に挙げたファイルの突合せが大変な作業でした。

ヤフーグループスが提供する配信アドレス一覧には会員番号がなく、氏名も明示されていない

場合がほとんどで、そのためどのアドレスが誰のものかを特定するために、各ファイルをエクセルで照合する作業が必要となり、作業完了まで3か月くらい掛かってしまいました。

以上の作業の結果は次の通りです。(2011年7月11日現在)

整理前の配信アドレス数 598

現在の配信アドレス数 502

一連の整理作業にあたっては、前ML部会長のNO.60 渡辺義郎さんに手伝って頂き、中心となって作業を進めてもらい、大変助けて頂きました。

次に挙げられるML部会の業務は、南国メールが円滑に運営されるための啓蒙活動です。言うまでもなく南国MLはリタイア後の人生を、温かい南の国で楽しく暮らす為に、情報を交換する場として発足しました。

南国MLを円滑に運営するために「南国暮らしの会ML規約」を設け、MLはこれに基づいて運営されています。

南国MLはお互いの意見を主張し合う論戦の場ではありません。

あくまでも、温かい南国でショートステイやロングステイをする為の楽しい情報交換の場でありたいと考えます。

今後も会にふさわしい情報を積極的にお寄せ頂くよう、会員皆様のご協力をお願いいたします。

最後にML規約のうち「遵守事項」を記載します。

## 5、遵守事項

- (1) 個人への中傷、誹謗、悪意の批判等および個人のプライバシーに関する情報は禁止します。
- (2) 全員に対する発信ですので、個人間同士のメール交換は避けて下さい。やむを得ない場合は件名に「私信〇〇様」表記する。又、各支部限定の話題は件名に「〇〇支部」と表記して発信下さい。
- (3) 政治、宗教及び思想的宣伝に関する投稿は禁止します。但し、LS対象国の一般的情報



に関してはこの限りではありません。

- (4) 営利行為、宣伝行為に関わる投稿は禁止します。
- (5) このMLは楽しい情報交換の場です。論戦を展開する場ではありません。他人が不快と思う内容は禁止します。また一方的な観点に立った教唆・扇動的内容も禁止です。
- (6) 個人メールを発信者の承諾を得ないでMLへ転載することを禁止します。

以上

### 友好団体紹介コーナー

- ★財団法人ロングステイ財団  
<http://www.longstay.or.jp>
- ★チェンマイロングステイライフの会  
(CLLクラブ)  
<http://cll.thaijp.net/>
- ★ワールドステイクラブ (WSC)  
<http://homepage3.nifty.com/worldstayclub/>
- ★THE JAPAN CLUB OF KUALA LUMPUR KL  
(クアラルンプール) 日本人会  
<http://www.jckl.org.my/>
- ★北ルソン日本人会 (JANL)  
<http://janl.exblog.jp/>
- ★バンコク日本人会
- ★西豪州日本クラブ

## 南国暮らしの会 支部一覧

2011年9月現在

| 支部名          | 会員番号  | 支部長名   | e-mail アドレス                     |
|--------------|-------|--------|---------------------------------|
| 北海道支部        | 609   | 三島 克幸  | misima@cameo.plala.or.jp        |
| 東北支部         | 498   | 氏家 孝   | takashiujiie3322@yahoo.co.jp    |
| 関東甲信越支部      | 1125  | 佐々木 一信 | gogo.k.sasaki@kvf.biglobe.ne.jp |
| 東海支部         | 840   | 岩田 彬   | rockfield2008@yahoo.co.jp       |
| 関西支部         | 891   | 徳永 卓雄  | michitac1938@gmail.com          |
| 九州支部         | 581   | 朝永 清壽  | ktomo581@yahoo.co.jp            |
| マニラ支部        | ※1269 | 岩崎 宏   | iwasaki@friendshipmanila.com    |
| セブ支部         | ※ 636 | 鶴岡 照郎  | telu@wave.plala.or.jp           |
| バギオ・パンガシナン支部 | 227   | 齋木 一   | saikihajime@hotmail.com         |
| ダバオ支部        | -     |        |                                 |
| バンコク支部       | -     |        |                                 |
| チェンマイ支部      | 54    | 山口 洋二  | obito2006kyotai@yahoo.co.jp     |
| クアラルンプール支部   | -     |        |                                 |
| ペナン支部        | 1020  | 松下 茂   | yoko-papa@hotmail.co.jp         |
| ハワイ支部        | ※ 712 | 高田 勝弘  | toro21@richi-ho.ne.jp           |
| ゴールドコースト支部   | ※ 586 | 磯崎 興志  | isozakiks586@w4.dion.ne.jp      |
| パース支部        | -     |        |                                 |

※は支部長代行

## 会員からの投稿写真

写真提供ありがとうございます。

写真は

大野悦子さん（No.434 関東甲信越支部）、  
ならびに、会報編集委員会からの提供です。



ワットアルン（暁の寺）/ バンコク



バンコクのエメラルド寺院



ベトナム伝統家屋・Kiet 邸

## 編集後記

会報、年4回発行から3回発行に変わってから1年経ちました。夏号、秋号、が夏秋号になり、編集担当としていかに内容を充実させるか、会員の皆様楽しく読んで頂く様に、編集にも力が入りました。

その様な考え方を基本にして、下記の項目を主体に、編集担当の二人で相談しながら編集活動を進めました。

- 1、表紙の写真は、人気のタイ、チェンマイ、ロイカトーンの風景。
- 2、特集、初めての試み、パネルディスカッション、「私の旅スタイル、およびロングステイについて」。
- 3、各国を旅する、会員からの「ふれあい投稿」
- 4、各地に展開する、支部の特色ある活動。
- 5、部会伝言板はボランティア団体での役員の活動、そしてご理解。

投稿された方々、各支部で会を楽しんでいる方々、また会報を読んで頂ける会員の皆様に満足して頂ける会報を目指したつもりです。

会報の核として考えたのが「パネルディスカッション」です。

会員の方々にはいろいろな旅のスタイルがあります。それぞれの旅を楽しんでいる会員さんに座談会形式でのディスカッションを掲載致しました、楽しんで読んで下さい。

また、少しでも多くの支部活動を掲載致したくご無理も申し上げましたが、ご理解いただき数多くの支部より特色のある支部便りを頂きました、有難うございました。

会報は会員全員の情報交換の場です、会報部会として少しでも喜んでもらえる会報作りを今後も目指したいと思っています。宜しくお願い致します。

夏秋号、編集担当、NO-750 小松 勝正  
NO-1067 手石方了成

「南国暮らしの会」からのお勧め

## \* 自己責任 \* 納得の上 \* 自己決定

南国で不動産等の買い物をするときは、すぐ買わず、情報を幅広く集めて、自分の目で確かめて、しばらく試してみても納得してから、自分の責任において自己決定する。

### 【連絡先一覧】

- (1) MLメールアドレスの変更 mail.iinkai@gmail.com
- (2) 会員関係（住所変更など） kaiin.bukai@gmail.com
- (3) 経理関係（会費、名刺ロゴマークなど） keiri.iinkai@gmail.com
- (4) その他一般 home@minaminokai.com

(メールには用件の他に会員番号、氏名、ご自分のメールアドレスを明記して下さい。またMLメールアドレス変更の場合は、ウイルス防止のためご利用のウイルス防止ソフト名あるいはプロバイダのウイルスチェック契約の有無を追加してください)

### [編集委員]

|         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|
| No.1125 | 佐々木一信 | No. 513 | 青木 方子 |
| No. 750 | 小松 勝正 | No.1017 | 光城 保之 |
| No.1041 | 中西 岩夫 | No.1067 | 手石方了成 |
| No.1230 | 吉野 正博 | No.1388 | 寺田 和義 |
| No.1457 | 小野 耕一 |         |       |

記事の無断転載・複製を禁じます。

発行者 特定非営利活動法人（NPO法人）

「南国暮らしの会」

©minaminokai

理事長 馬場 章介

〒110-0004 東京都台東区下谷 3-20-20-501

<http://www.minaminokai.com/>

E-mail: [info@minaminokai.com](mailto:info@minaminokai.com)





## 投稿写真コーナー



オランダ・ベルギー